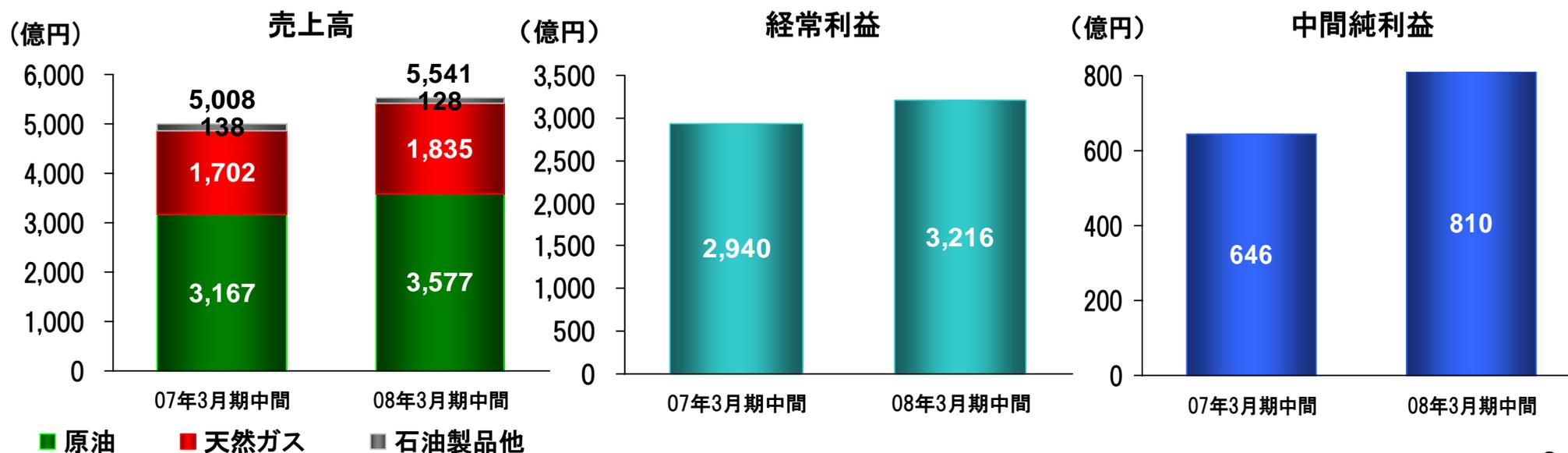


2008年3月期中間決算説明会
参考データ集

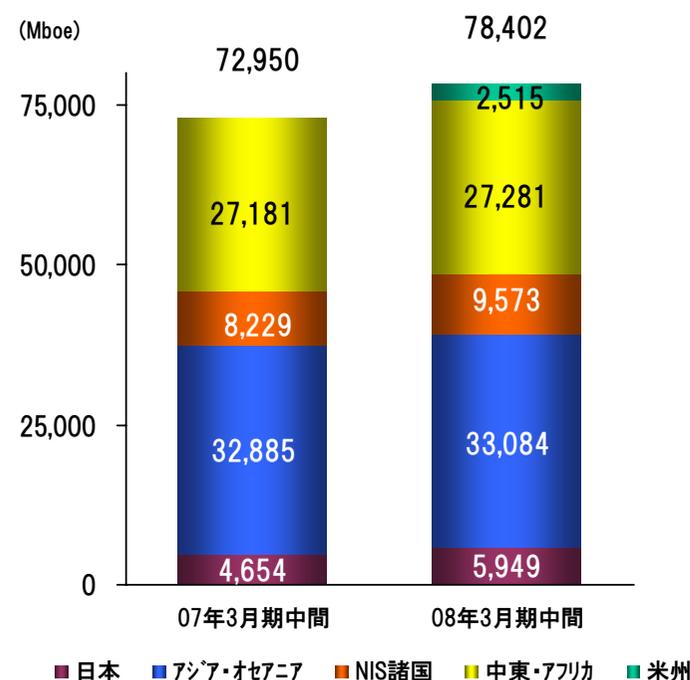
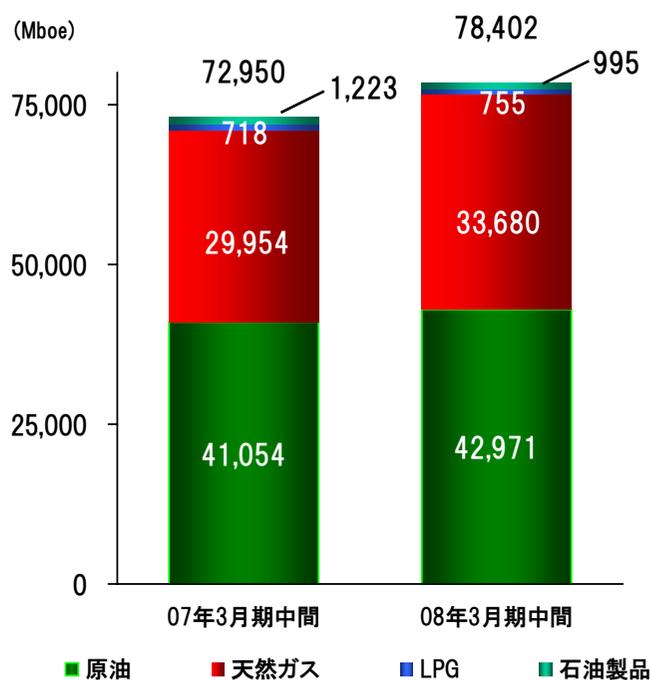
国際石油開発帝石HD 2008年3月期 中間決算ハイライト

	07年3月期 中間期(4月～9月)	08年3月期 中間期(4月～9月)	増減	増減率
売上高(億円)	5,008	5,541	533	10.6%
営業利益(億円)	2,984	3,259	275	9.2%
経常利益(億円)	2,940	3,216	276	9.4%
中間純利益(億円)	646	810	163	25.3%



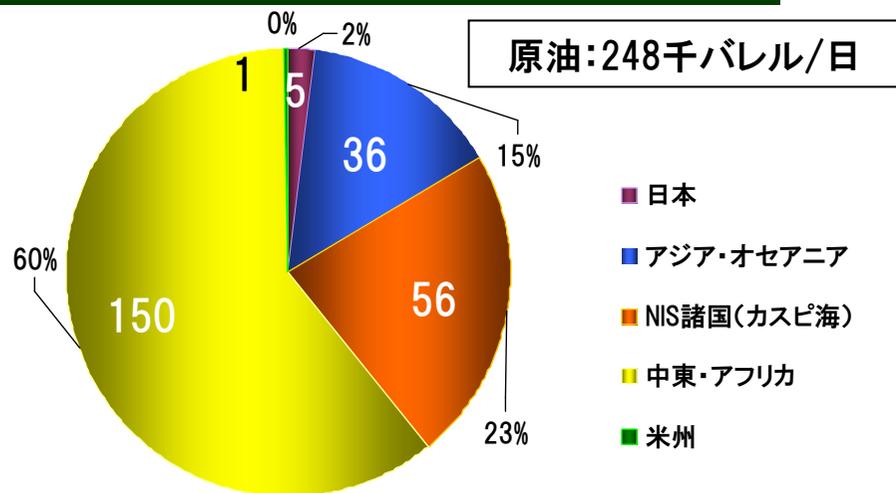
国際石油開発帝石HD 販売量

	2007年3月期中間					2008年3月期中間					増減				
	原油 (Mbbbl)	天然ガス (MMcf)	LPG (Mbbbl)	石油製品 (Mbbbl)	合計 (Mboe)	原油 (Mbbbl)	天然ガス (MMcf)	LPG (Mbbbl)	石油製品 (Mbbbl)	合計 (Mboe)	原油 (Mbbbl)	天然ガス (MMcf)	LPG (Mbbbl)	石油製品 (Mbbbl)	合計 (Mboe)
日本	38	19,793	95	1,223	4,654	151	28,222	100	995	5,949	113	8,429	5	(228)	1,295
アジア・オセアニア	5,606	159,931	624	-	32,885	5,917	159,073	655	-	33,084	311	(858)	31	-	199
NIS諸国	8,229	-	-	-	8,229	9,573	-	-	-	9,573	1,344	-	-	-	1,344
中東・アフリカ	27,181	-	-	-	27,181	27,281	-	-	-	27,281	100	-	-	-	100
米州	-	-	-	-	-	50	14,788	-	-	2,515	50	14,788	-	-	2,515
合計	41,054	179,724	718	1,223	72,950	42,971	202,083	755	995	78,402	1,917	22,358	36	(228)	5,452

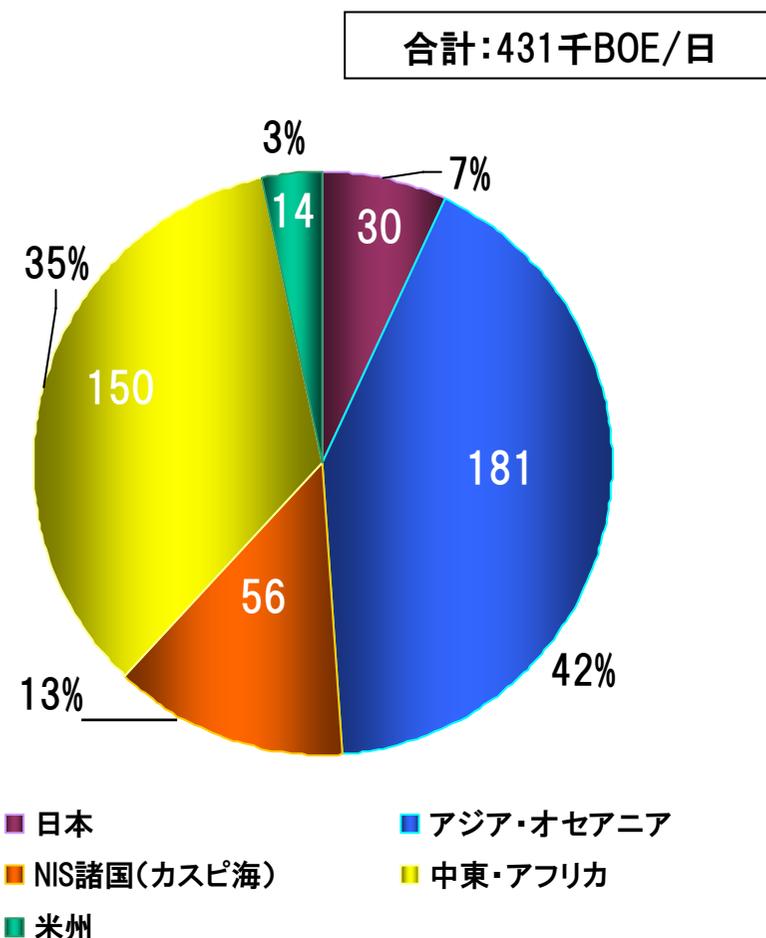


国際石油開発帝石HD 生産量(2007年4月～9月)

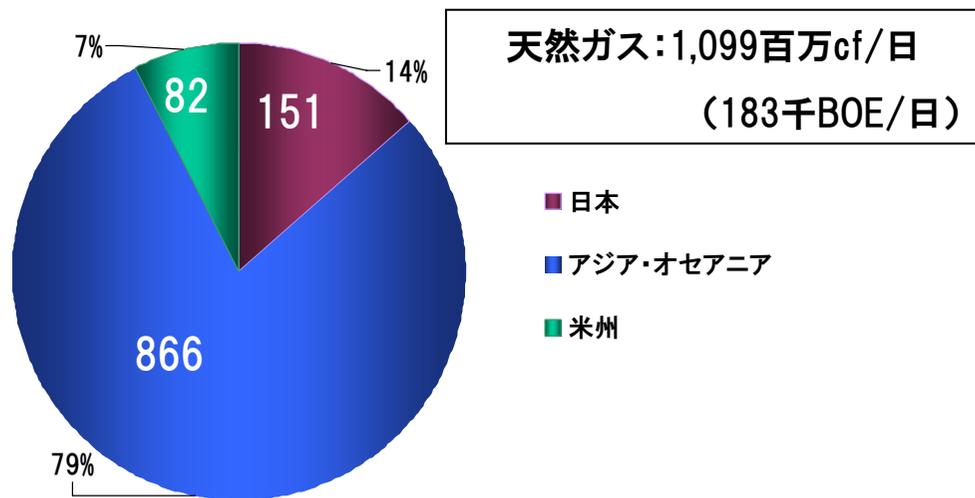
原油



原油・天然ガス合計



天然ガス

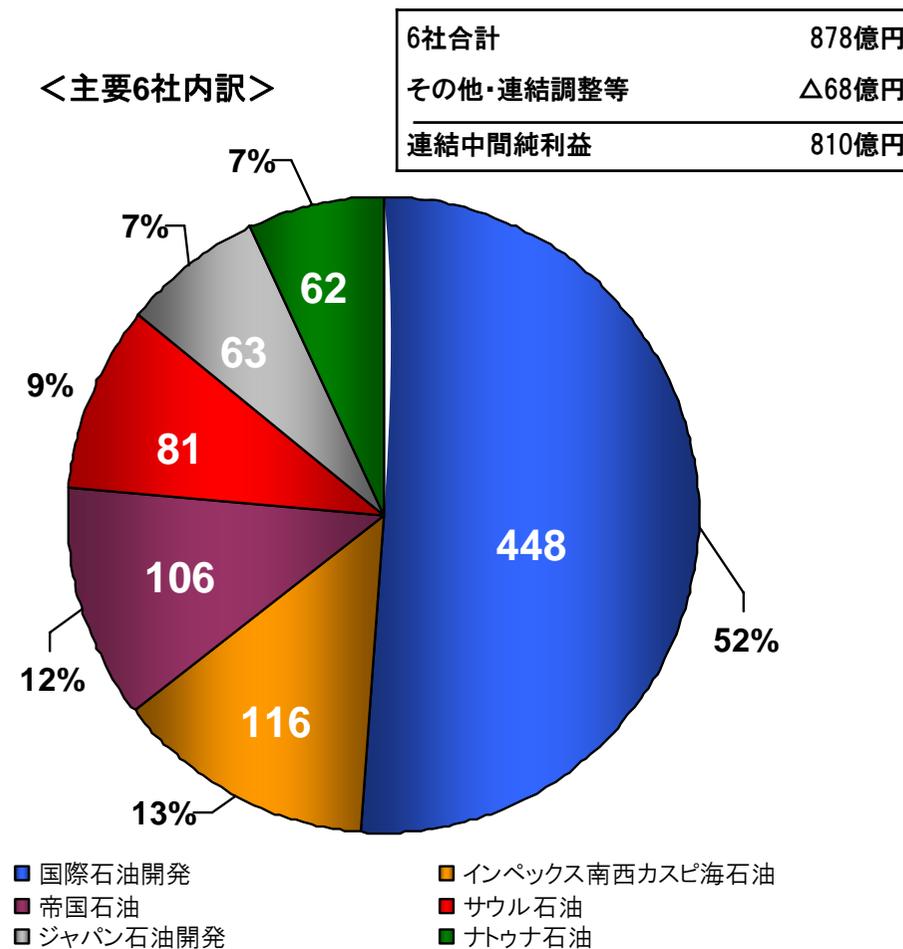
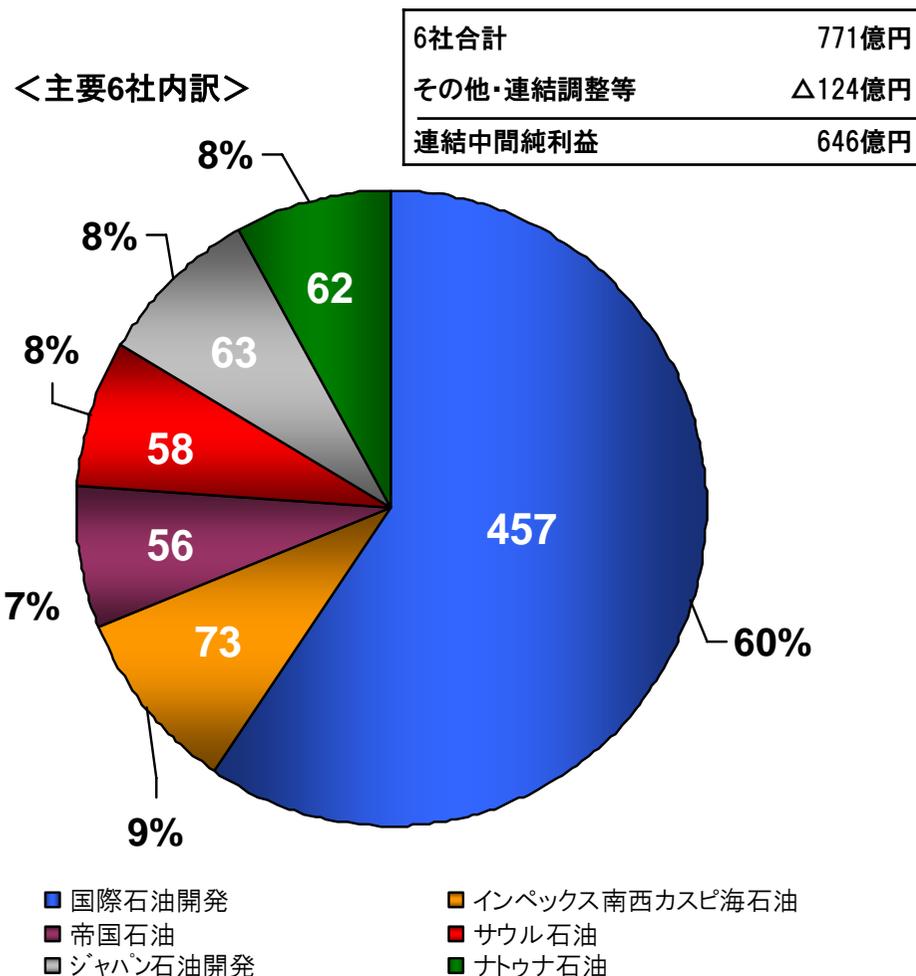


主要会社貢献度

(注) 各社の金額は、連結上必要な調整（少数株主損益の控除等）後のものです。

07/3期中間期

08/3期中間期



国際石油開発帝石HD

2008年3月期中間 EBIDAXの計算詳細

(百万円)		出所	備考
純利益	81,045	P/L	
少数株主損益	8,678	P/L	
減価償却相当額	71,596		
減価償却費	17,738	C/F	コンセッション契約及び販管費に係る減価償却費
のれん償却額	3,236	C/F	
生産物回収勘定(資本支出)の 回収額	50,622	C/F	PS契約に係る減価償却費
探鉱費相当額	16,530		
探鉱費	8,316	P/L	コンセッション契約に係る探鉱費
生産物回収勘定引当金繰入額	7,527	P/L	PS契約に係る探鉱費
探鉱事業引当金繰入額	687	P/L	PS契約に係る探鉱費
重要な非現金項目	△8,692		
法人税等調整額	△7,038	P/L	
為替差損益	△1,654	C/F	
税引後ネット支払利息	7	P/L	税引後の支払利息－受取利息
EBIDAX	169,164		

所在地別セグメント情報

2007年4月1日～2007年9月30日

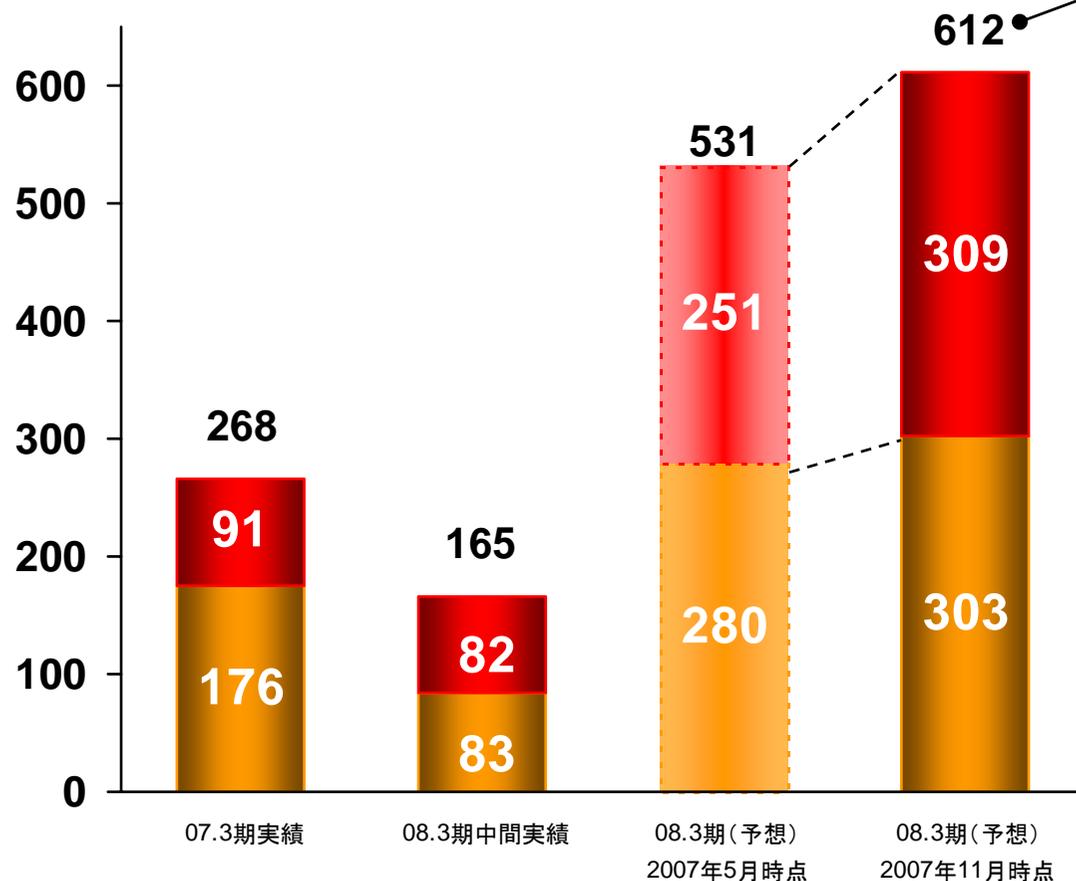
(単位:百万円)

	日本	アジア・ オセアニア	NIS諸国	中東・ アフリカ	米州	計	消去または 全社	連結
売上高	41,823	203,726	81,384	223,073	4,165	554,173	-	554,173
営業費用	29,593	80,006	45,893	67,269	2,265	225,028	3,178	228,206
営業利益	12,230	123,720	35,490	155,804	1,899	329,145	△3,178	325,966

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度及び事業活動の相互関連性によっております。
- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
- (1) アジア・オセアニア.....インドネシア、オーストラリア、東チモール、ベトナム
 - (2) NIS諸国アゼルバイジャン、カザフスタン
 - (3) 中東・アフリカ.....アラブ首長国連邦、コンゴ民主共和国、イラン、リビア、エジプト、アルジェリア
 - (4) 米州.....ベネズエラ、エクアドル、アメリカ合衆国
- 3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(4,758百万円)の主なものは、のれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

探鉱費・生産物回収勘定引当金繰入額(実績・予想)

(億円)



主な増加要因:

アバディ	90億円
イクシス	27億円
その他	△36億円
合計	81億円

■ 生産物回収勘定引当金繰入額*(PS契約) * 探鉱事業引当金繰入額を含む
 ■ 探鉱費(コンセッション契約)

2008年3月期業績予想 基礎前提と上期実績

		通期予想(5月公表)	上期実績
販売量	原油 (千バレル) ¹	92,074	42,971
	天然ガス (百万cf) ²	418,495	202,083
	LPG (千バレル) ³	1,676	755
	石油製品 (千バレル) ¹	2,201	995

	通期予想(5月公表)	上期実績
開発投資額(億円)	2,847	1,084
探鉱投資額 ⁴ (億円)	746	212
探鉱費および 探鉱関連引当額 ⁵ (億円)	531	165

注) 1 国内原油および石油製品販売量の換算係数として1kl=6.29バレルを使用

2 国内天然ガス販売量の換算係数として1m³=37.32cfを使用

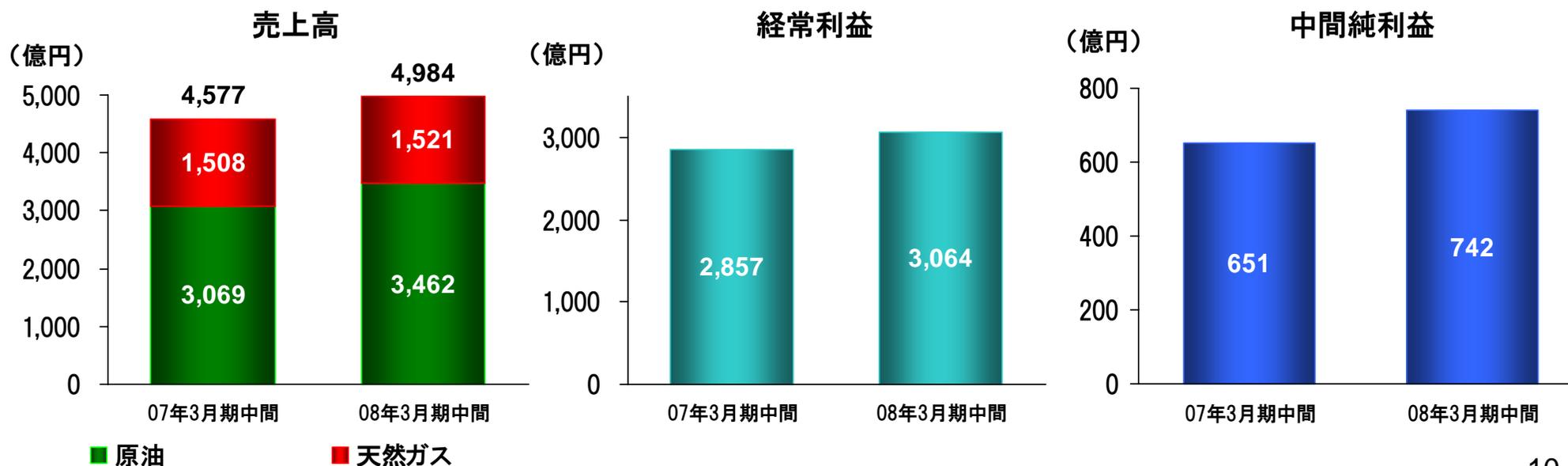
3 国内LPG販売量の換算係数として1トン=10.5バレルを使用

4 権益取得費を含む

5 損益計算書の生産物回収勘定引当金繰入額+探鉱事業引当金繰入額

国際石油開発
2008年3月期 中間期決算ハイライト

	07年3月期 中間期(4月～9月)	08年3月期 中間期(4月～9月)	増減	増減率
売上高(億円)	4,577	4,984	406	8.9%
営業利益(億円)	2,871	3,079	208	7.3%
経常利益(億円)	2,857	3,064	206	7.2%
中間純利益(億円)	651	742	91	14.0%



国際石油開発 原油売上高

	07年3月期中間	08年3月期中間	増減	増減率
原油売上高* (億円)	3,069	3,462	393	12.8%

原油販売量 (千bbl)	39,617	41,410	1,793	4.5%
平均単価 (\$/bbl)	66.83	69.78	2.95	4.4%
平均為替 (¥/\$)	115.45	119.45	4.00	3.5%

*インドネシア国内供給義務を含む。

原油販売量は、主にACG油田(インペックス南西カスピ海石油)の生産量増加並びに南ナトゥナ海B鉱区(ナトゥナ石油)およびADMA鉱区(ジャパン石油開発)の引取販売量増加により前期比4.5%増加。

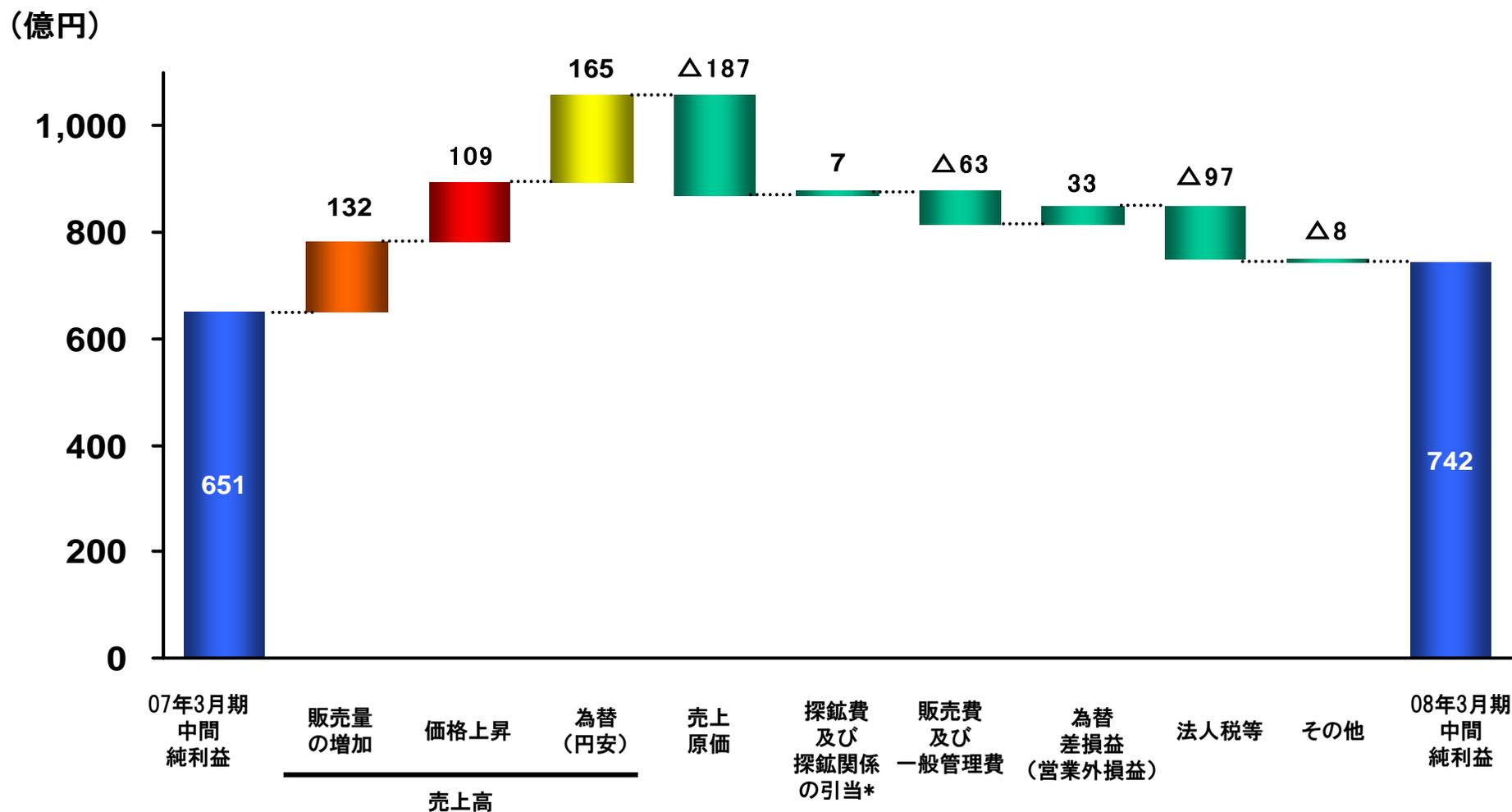
国際石油開発 天然ガス売上高

	07年3月期中間	08年3月期中間	増減	増減率
天然ガス売上高 *(億円)	1,508	1,521	13	0.9%
天然ガス販売量 (百万cf)	159,931	159,073	△858	△0.5%
平均単価 (\$/千cf)	7.98	7.80	△0.18	△2.3%
平均為替 (¥/\$)	115.43	119.30	3.87	3.4%

*LPGを含む。

天然ガス売上高は、販売量の若干の減少及び平均単価下落があったものの、円安により若干の増収となった。

国際石油開発
中間期純利益 増減要因分析

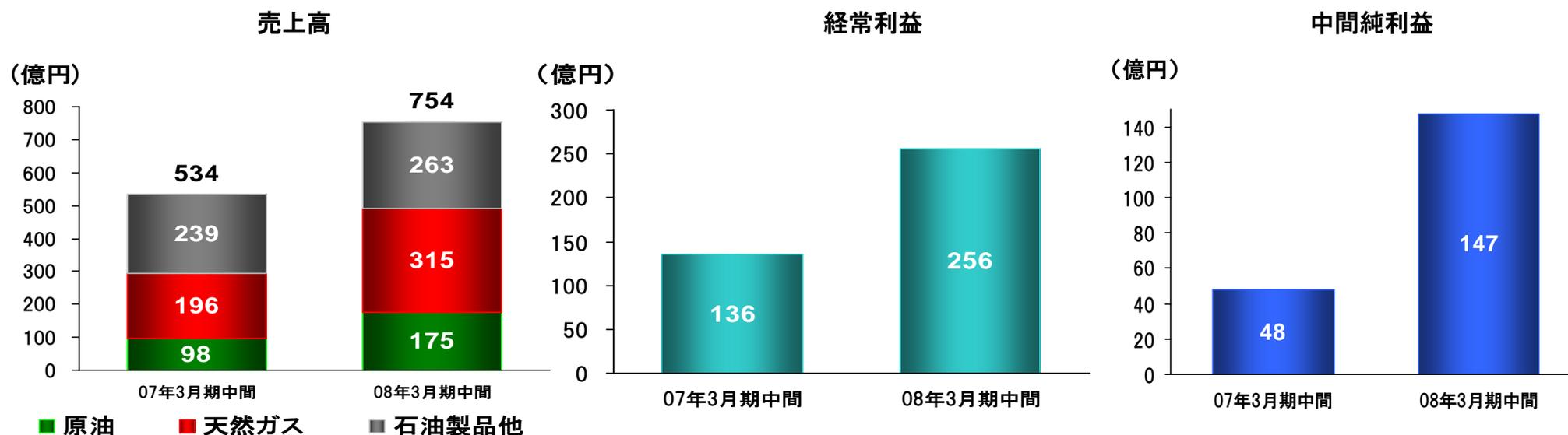


*生産物回収勘定引当金繰入額及び探鉱事業引当金繰入額

帝国石油

2008年3月期 中間期決算ハイライト

	07年3月期 中間期(4月～9月)	08年3月期 中間期(4月～9月)	増減	増減率
売上高(億円)	534	754	220	41.2%
仕入販売取引の相殺後(億円)	430	557	126	29.4%
営業利益(億円)	145	212	66	45.9%
経常利益(億円)	136	256	119	87.1%
中間純利益(億円)	48	147	98	202.5%



帝国石油 原油売上高

	07年3月期中間	08年3月期中間	増減	増減率
原油売上高 (億円)	98	175	77	79.1%
仕入販売取引相殺後(億円)	98	114	16	16.8%

海外原油販売量 (千bbl)	1,399	2,123	724	51.7%
仕入販売取引相殺後(千bbl)	1,399	1,411	11	0.8%
海外原油平均単価 (\$/bbl)	58.94	63.74	4.80	8.1%
平均為替 (¥/\$)	115.40	120.05	4.65	4.0%

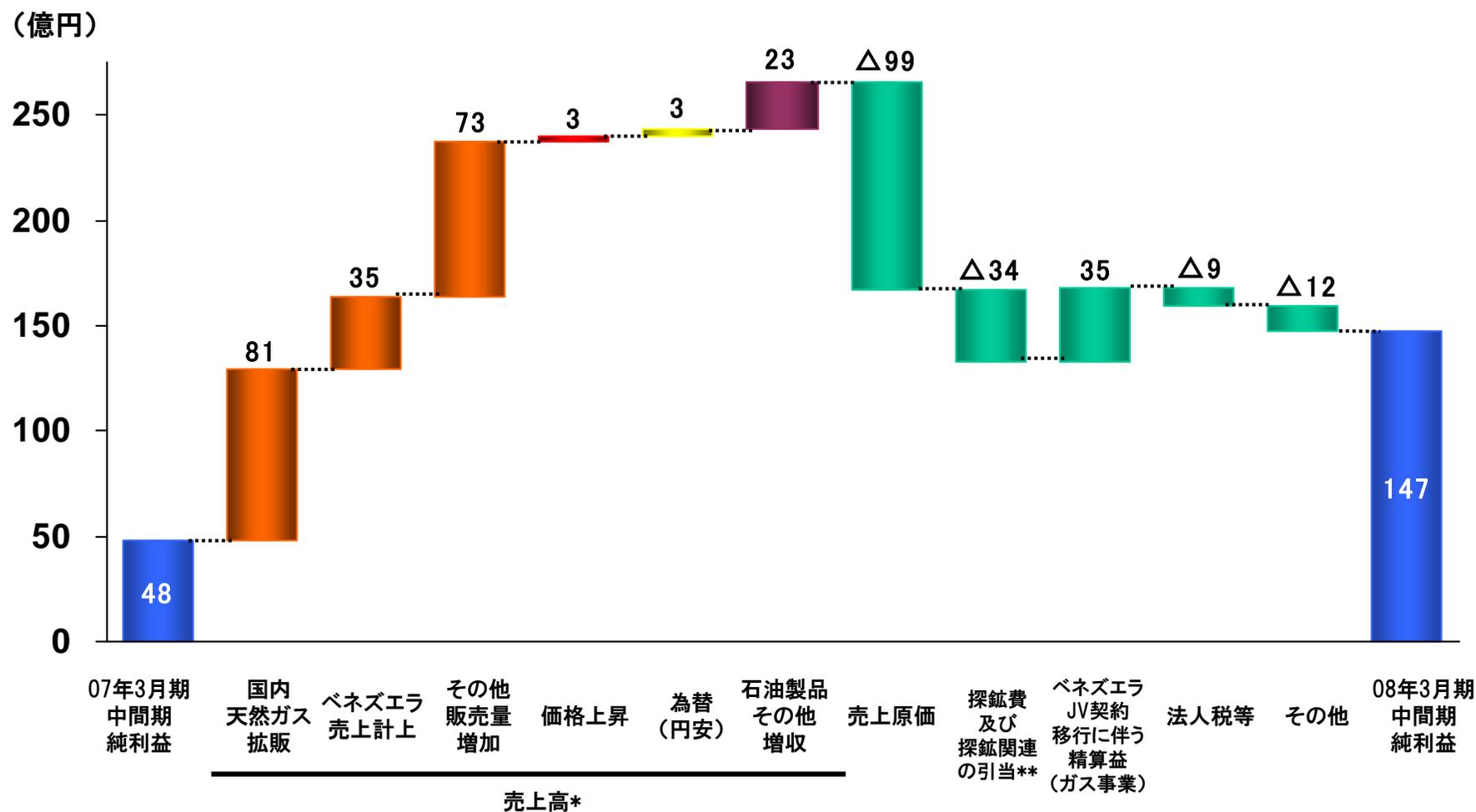
・サハリン事業：当期より権益分原油の販売開始
 (仕入販売取引のため、ホールディングス連結では純額表示)

帝国石油 天然ガス売上高

	07年3月期中間	08年3月期中間	増減	増減率
天然ガス売上高 (億円) (LPGを含む)	196	315	119	60.7%
海外ガス販売量 (百万cf)	-	14,788	14,788	-
海外ガス平均価格 (\$/千cf)	-	2.13	2.13	-
海外ガス売上為替 (¥/\$)	-	120.15	120.15	-
国内ガス販売量 (百万Nm ³)	530	756	226	42.6%
国内ガス平均価格 (¥/Nm ³)	34.48	34.92	0.44	1.3%

- ・ベネズエラ事業：07年3月のガスライセンス付与を受けて、当期よりガスJVの売上を連結に計上
- ・国内天然ガス事業：静岡ガスへの販売量増加、大口工業用を中心に引続き大幅な拡販

帝国石油 中間純利益 増減要因分析

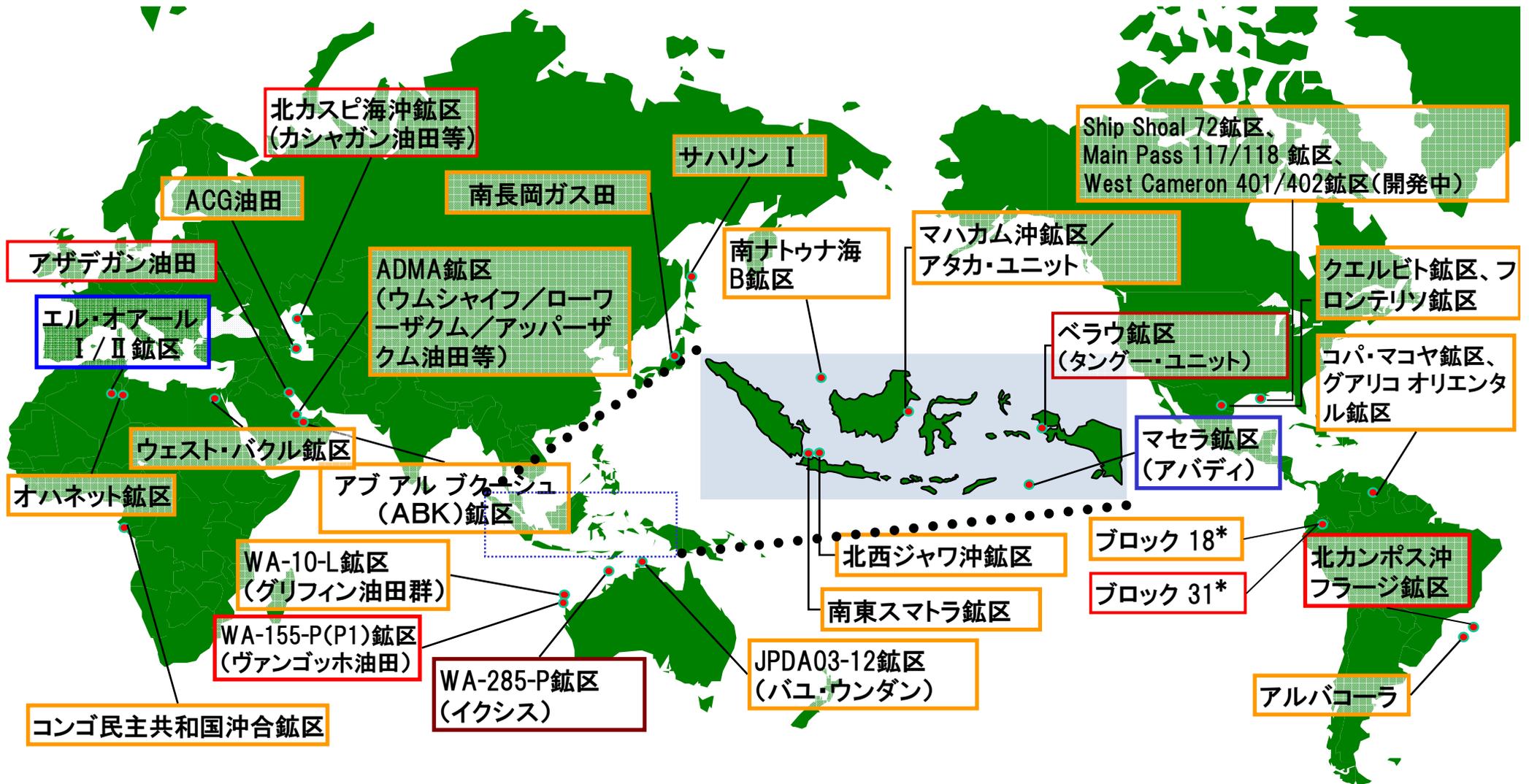


*仕入販売取引分を含む

**生産物回収勘定引当金繰入額及び探鉱事業引当金繰入額

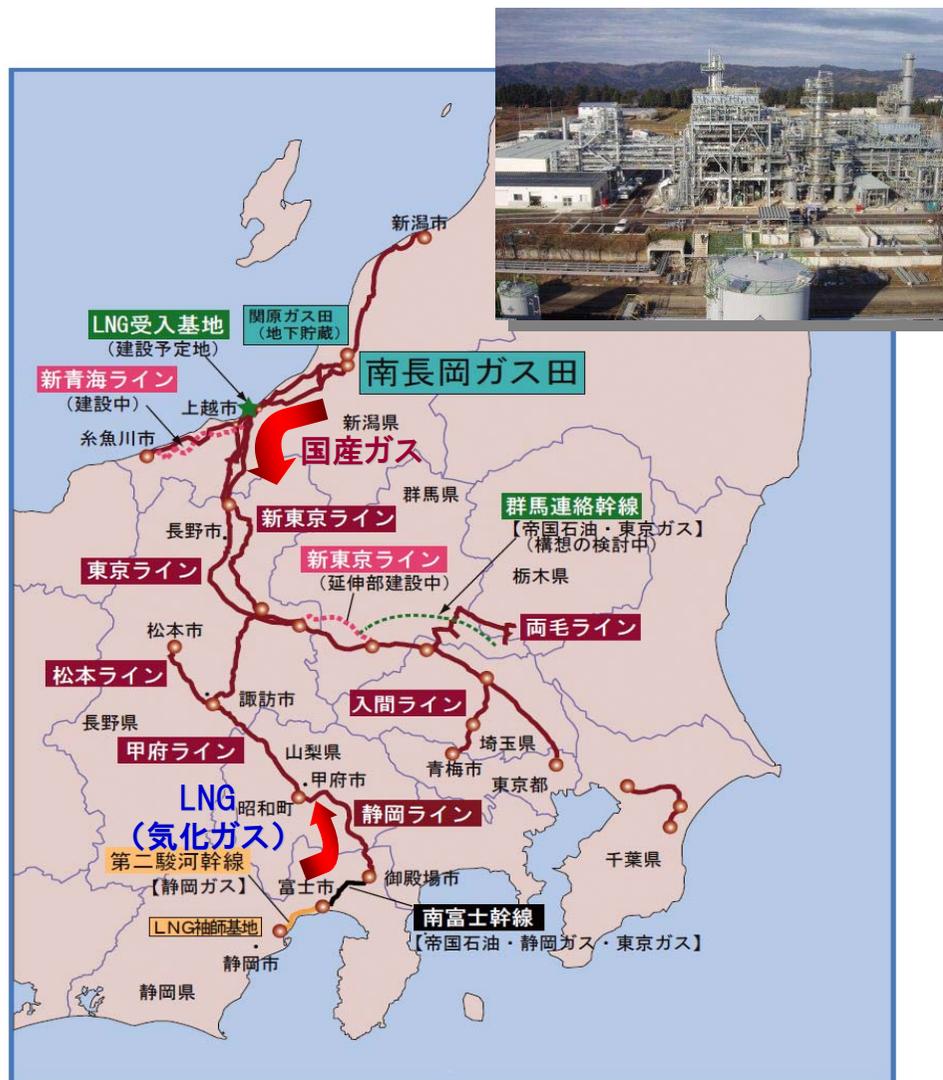
**国際石油開発帝石ホールディングス
プロジェクト参考データ**

主なプロジェクトの地理的位置



* 権益移転に係る政府承認手続中であり、当該契約は政府承認を得た後、正式に発効する予定であります。

国内天然ガス事業 帝国石油

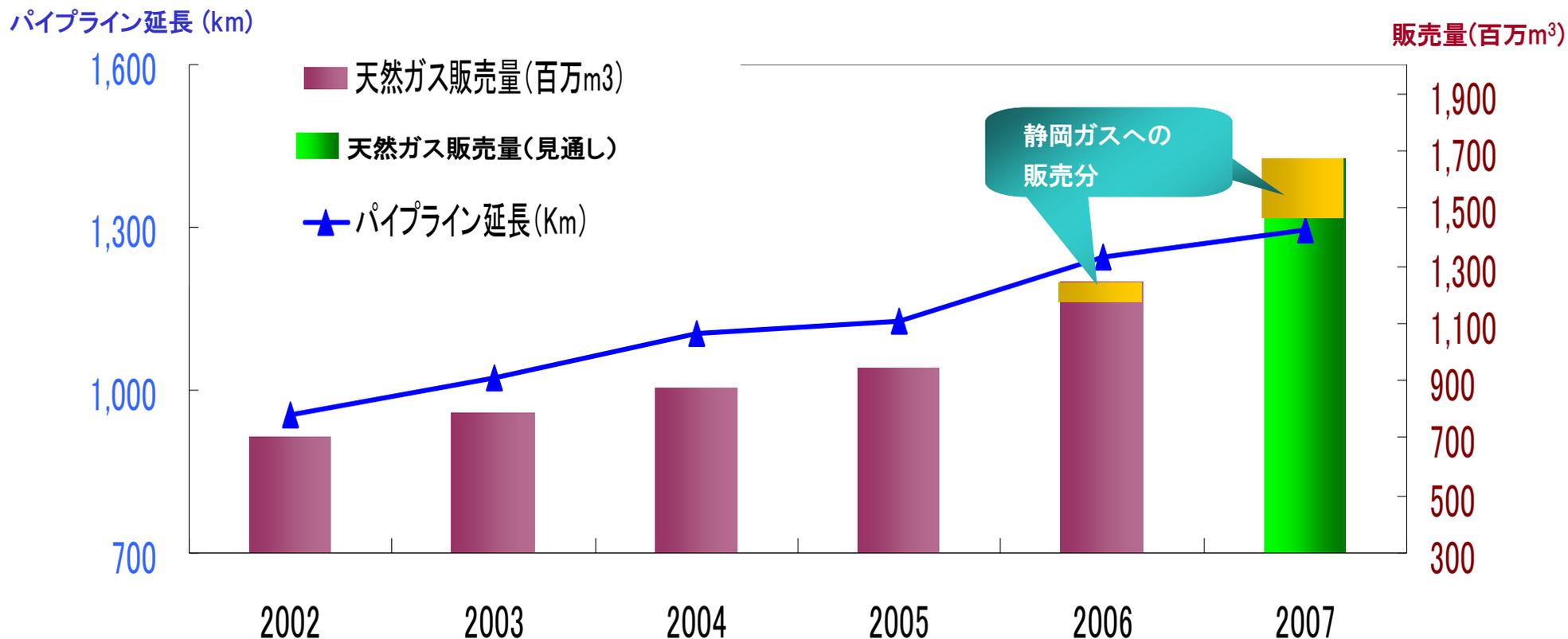


国内パイプラインネットワーク

- 生産量*
 - 天然ガス: 約4.0百万m³/日
 - 原油: 約4,600バレル/日
- 天然ガス販売量: 年間12億m³への前倒し達成(2006年度)、2007年度は約17億m³へ
- 南長岡ガス田(1984年生産開始)
 - MHF技術により北部開発を促進
 - 2006年末プラント処理能力増強(ガス田全体の処理能力: 約500万m³)
- 関東甲信越地域へのガス拡販を目的としたパイプラインネットワーク(総延長約1,400km)の完成へ
 - 新東京ライン延伸(約45km: 約112億円: 2007年完成予定)
 - 新青海ライン(約71km: 約178億円: 2009年完成予定)
- LNG受入基地(上越市)の建設計画
 - 当社グループによるLNGバリューチェーン構築も視野に
- 発電事業: 約5.5万kw

* 国内油田・ガス田の合計(2007年度 9月平均日産量)

国内天然ガス事業 拡販の状況



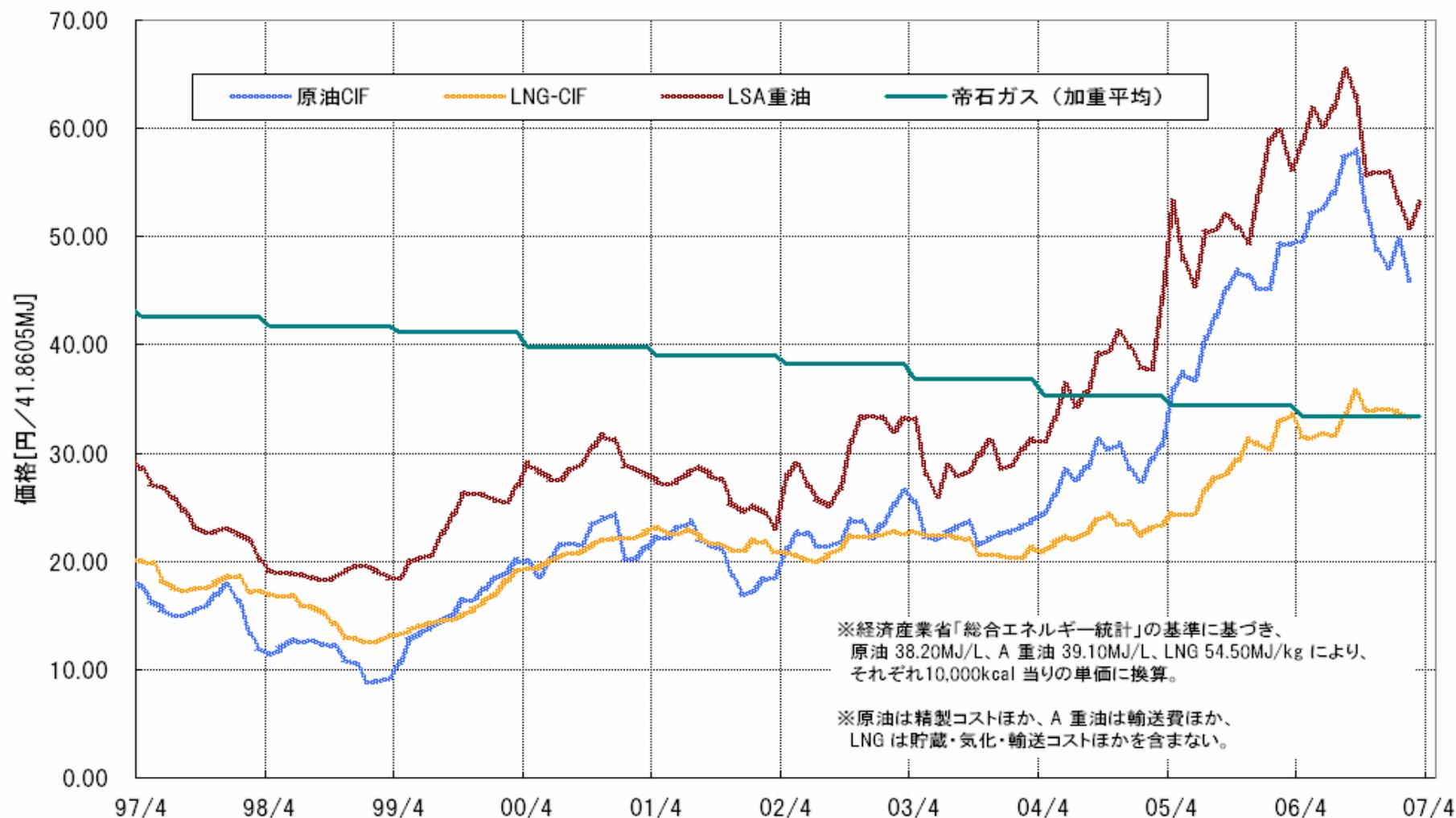
注: * 2005年までは12月期、2006年以降は翌年3月期の4月～3月ベース、2007年は見通し
 ** 帝石単体

- 年間12億m³の拡販目標4年前倒し達成
 - 工業用需要家を中心に天然ガスへの燃料転換が急速に進展中
 - 静岡ガスへの供給を開始
- ⇒ 2007年度は17億m³(約40%)の大幅増加見通し
- LNG導入に向けて(2010年～)
 - 拡販ペースに応じた導入
 - 価格体系の緩やかな改定

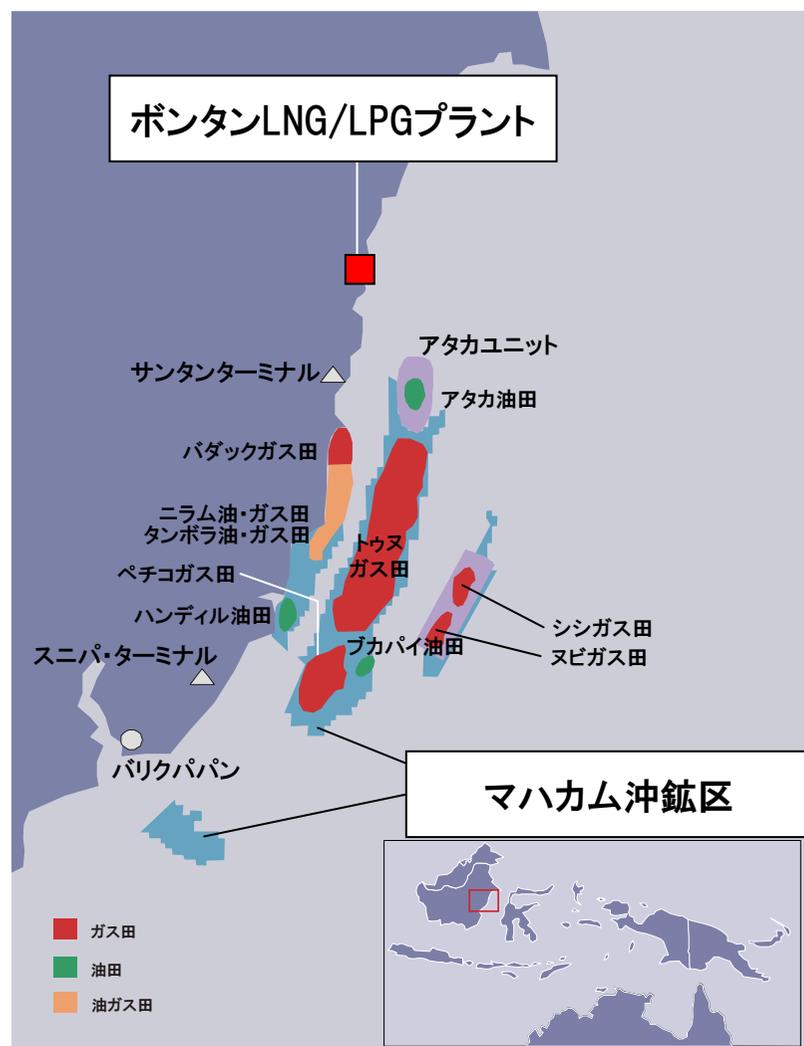
国内天然ガス価格

価格環境

単位あたりの価格比較



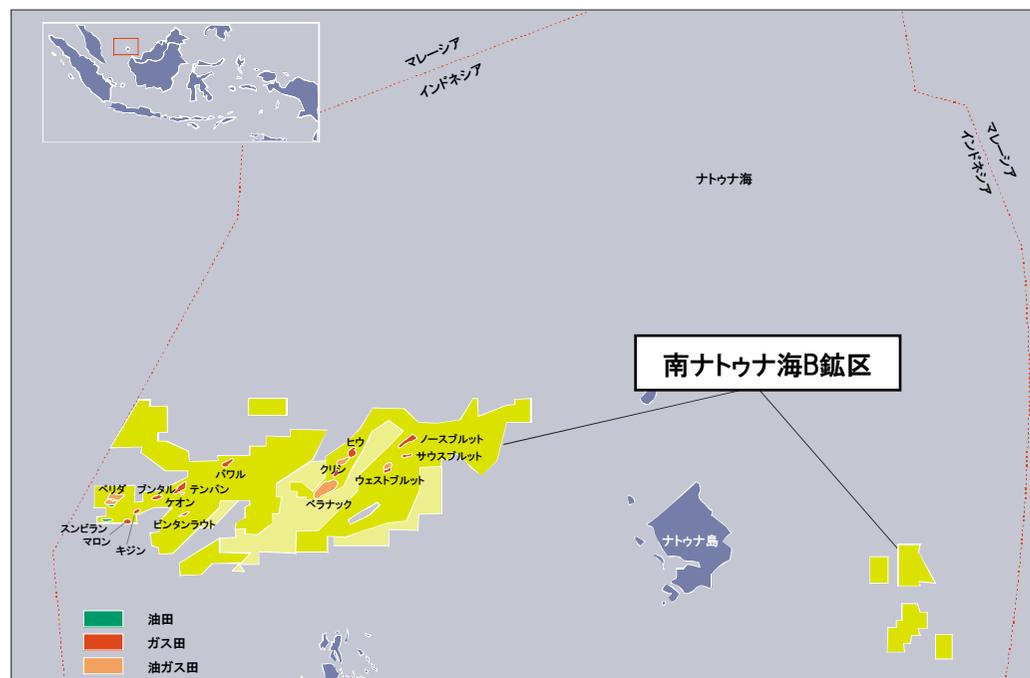
マハカム沖鉱区 国際石油開発(INPEX)



注: * 全鉱区ベース、2007年9月平均日産量

- 当社権益比率: 50%
(オペレーター: TOTAL)
- 生産量*
 - 原油: 日量約6万7千バレル
 - 天然ガス: 日量約26億立方フィート
- PS契約: 2017年まで
- ボンタンLNG基地へのガス安定供給を目的として開発作業を継続
 - トウヌ/ペチコガス田の段階的開発
 - タンボラ油・ガス田の追加開発
 - シシ/ヌビ ガス田の開発

南ナトゥナ海B鉱区 ナトゥナ石油



* 全鉱区ベース、2007年9月平均日産量

- 当社権益比率: 35.0%
(オペレーター: ConocoPhillips)
- 生産量*:
 - 原油: 日量約4万5千バレル
 - 天然ガス: 日量約4億4千万立方フィート
- PS契約: 2028年まで
- SembCorp社(シンガポール)と2001年より22年間、Petronas(マレーシア)と2002年より20年間の天然ガス販売契約締結
- 世界有数規模のFPSOで操業を行うベラナック油ガス田では2004年12月より原油・コンデンセートの生産を開始、2007年4月よりLPGの生産を開始
- クリシ油ガス田は2007年末生産開始を予定、ノースブルットガス田は2009年生産開始を予定

ベラウ鉱区(タンゲーLNGプロジェクト) MI Berau B.V./MIベラウジャパン



- MI Berau/MIベラウジャパン*:
 - 三菱商事とのJV(当社44%、三菱商事56%)
 - *MIベラウジャパンはケージーベラウ石油開発に約16.5%出資
- 権益比率:
 - MI Berau分: ベラウ鉱区 22.9%(タンゲー・ユニット 16.3%)
 - ケージーベラウ石油開発分: ベラウ鉱区 12%(タンゲー・ユニット 8.56%)
 - (オペレーター:BP)
- PS契約: 2035年まで
- インドネシア政府より、開発計画、生産分与契約の延長についての承認取得
- LNGプロジェクト開発費用として、総額35億米ドルの融資契約を締結済
- 建設中のLNGプラントは2008年後半生産開始予定
 - 年間760万トンのLNGを生産する計画
 - 中国福建省向けLNG長期販売契約を締結
 - 韓国POSCO社及びK-Power社とLNG販売契約を締結
 - 米国Sempra社とLNG販売契約を締結

マセラ鉱区(アバディ) インペックスマセラアラフラ海石油



- 当社権益比率: 100.0%
- オペレーター: 当社
- PS契約:
 - 探鉱期間10年間(2008年まで)
 - 開発・生産期間30年間(2028年まで)
- 2000年に試掘井アバディ1号にて天然ガスを発見
- 2002年に評価井2坑を掘削、アバディ構造が大規模ガス田であることを確認
- 2007年5月より評価井4坑の掘削作業を開始し、10月末時点で2坑目までの作業をほぼ終了、両井ともテストにより天然ガス産出を確認
- 2008年に可採埋蔵量の第三者査定を取得予定
- 現在までの検討結果から、LNGによる開発を検討中であり、開発コンセプトについても複数オプションを検討中

バユ・ウンダン サウル石油



*2 JPDA03-12(エラン・カカトゥアを含む)全鉱区ベース、2007年8月平均日産量(9月はシャットダウンメンテナンスを実施)

■ 当社権益比率: 11.27%*1

*1 共同操業協定に基づき、隣接するJPDA03-13鉱区との権益比率見直しを行なった結果、2007年6月29日に、10.53%より11.27%に変更。

■ 生産量*2

- 原油・コンデンセート: 日量約7万3千バレル
- 天然ガス: 日量約12億立方フィート
- LPG: 日量約3万6千バレル

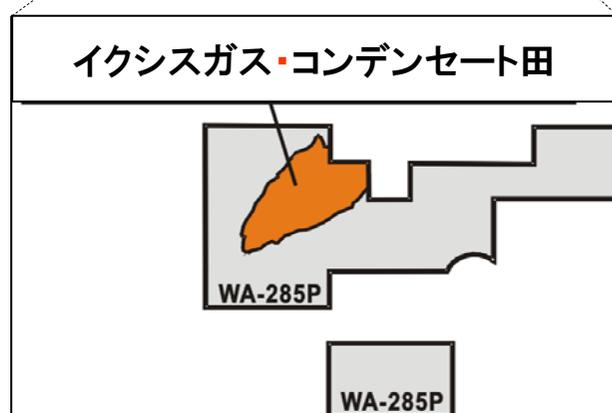
■ PS契約: 2022年まで

■ コンデンセート及びLPGの開発を目的としたフェーズ1については、2004年2月にコンデンセート/LPG販売開始

■ フェーズ2はLNGプロジェクトであり、2006年2月にLNG販売開始

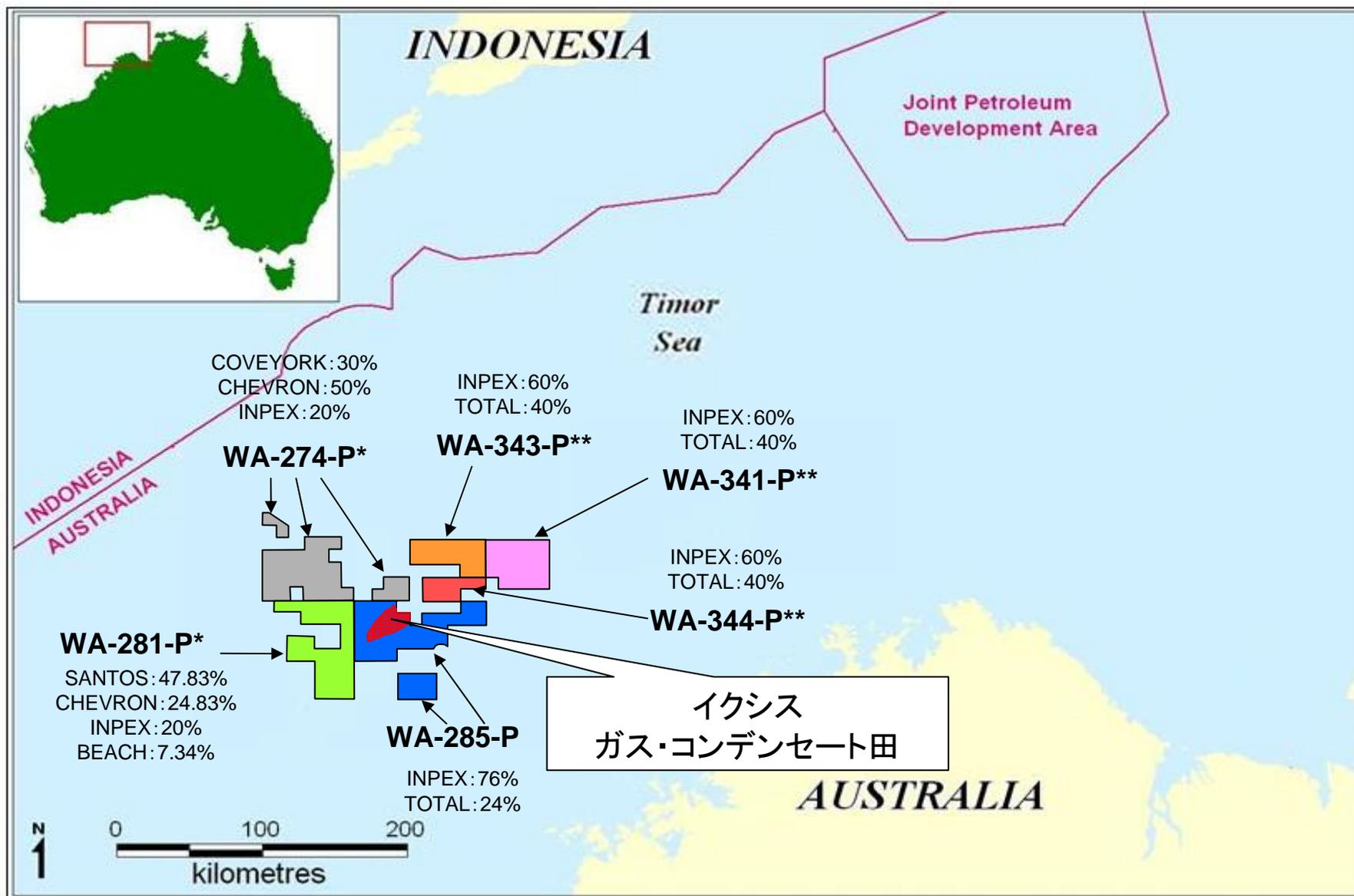
- 2005年8月、東京電力/東京ガスとLNG販売契約締結(2006年から17年間、プラト一時年間300万トン)

WA-285-P鉦区(イクシス) インペックス西豪州ブラウズ石油



- 当社権益比率: 76.0%
- オペレーター: 当社
- 利権契約:
 - 探鉦期間 2009年9月まで
 - 生産期間 生産ライセンス付与から21年(延長可)
- 2000年発見、イクシスガス・コンデンセート田と命名
- 2006年5月、豪州連邦政府及び西豪州政府に対し、プロジェクトの環境影響審査手続きを開始
- 2006年8月、長期にわたり豪州経済発展に貢献するプロジェクトとして、豪州連邦政府が主要促進プロジェクトに認定
- 2007年9月までに計7坑井掘削し、ガス・コンデンセートを確認した。2008年にガス埋蔵量の拡大を目的とした試掘井を掘削予定
- 2012年のLNG生産開始を目標に開発検討作業を実施中。初期段階での生産・販売量はLNGを年間約760万トン、LPGおよびコンデンセートを日産約10万バレルを予定

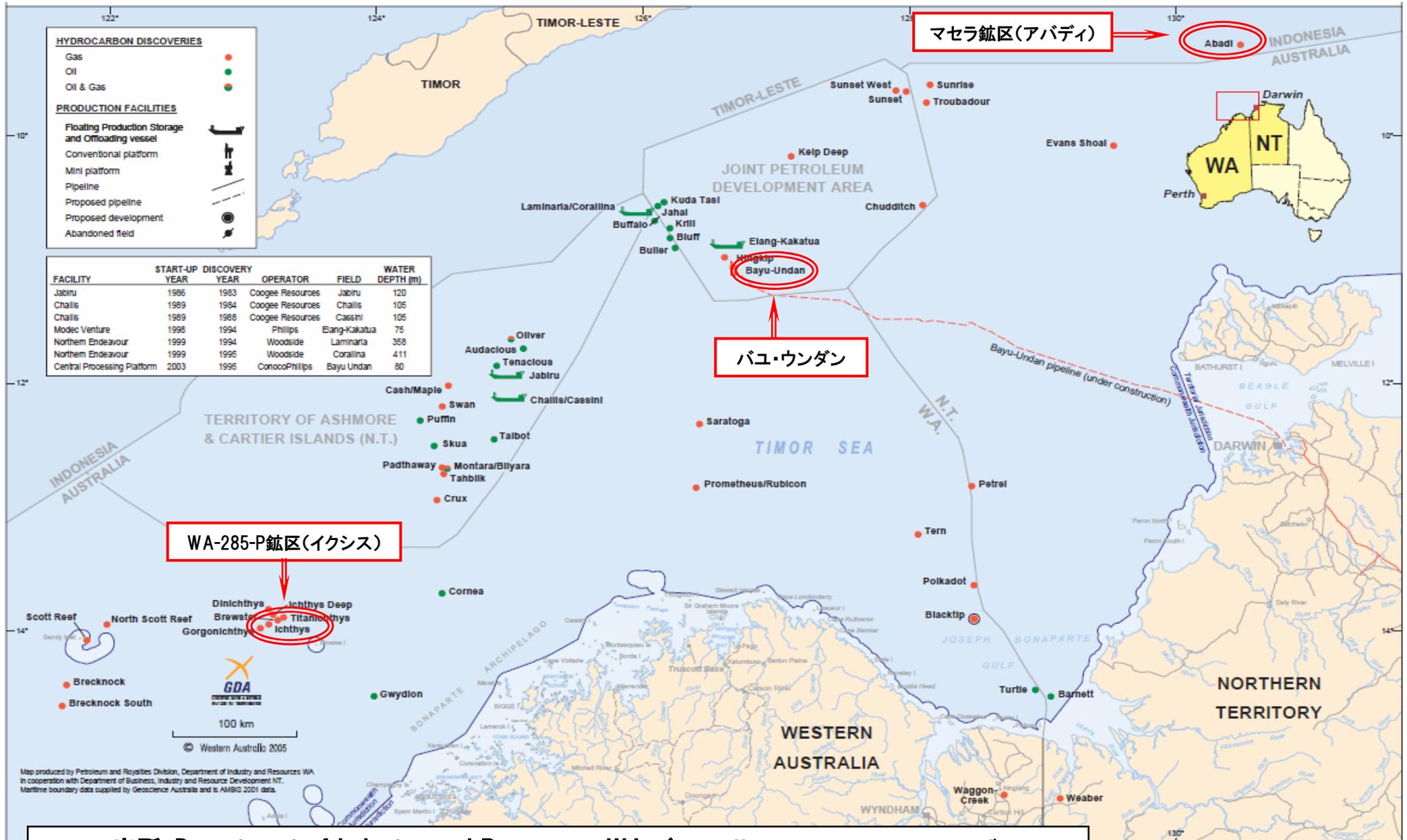
インペックス西豪州ブラウズ石油 保有鉱区位置図



* 2006年6月、WA-281-PおよびWA-274-P両鉱区の各20%の権益を取得

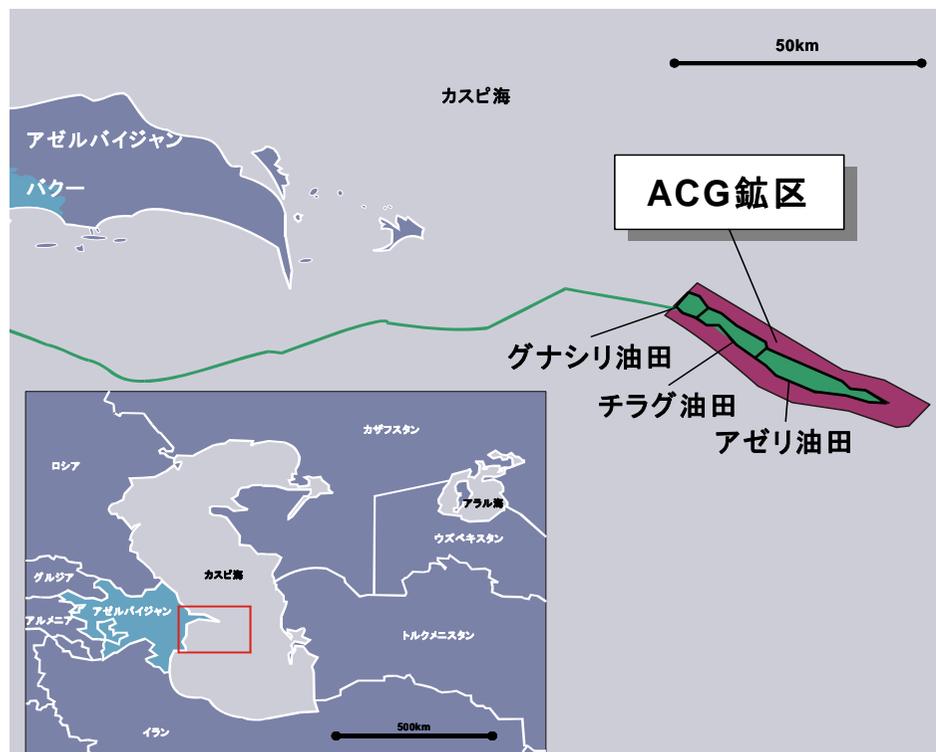
** 2007年10月、WA-341-P、WA-343-PおよびWA-344-P鉱区の各60%の権益を取得

マセラ鉱区およびWA-285-P鉱区の位置



出所: Department of Industry and Resources, WA (<http://www.doir.wa.gov.au/>)

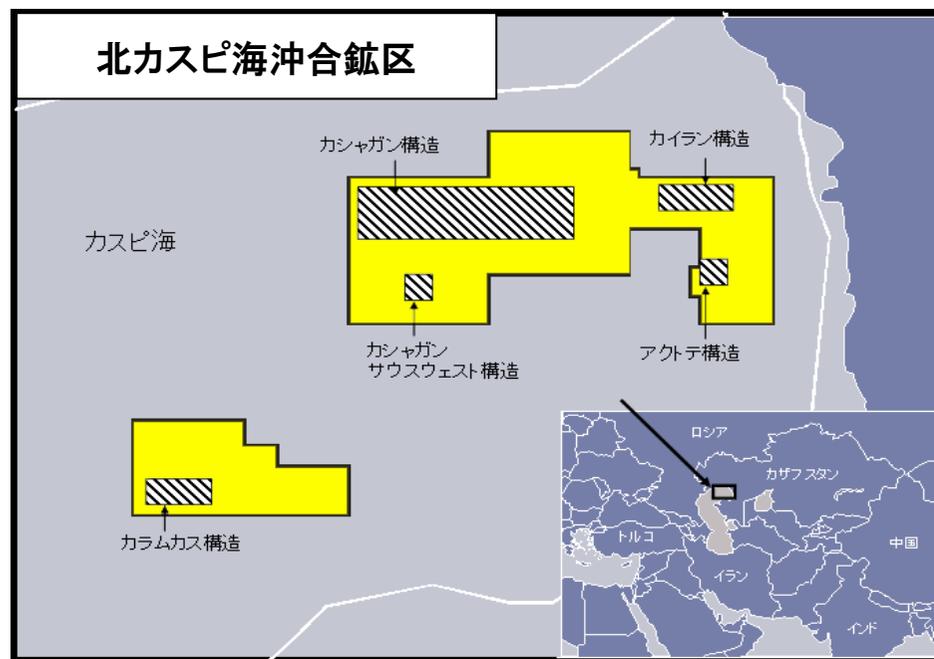
ACG油田 インペックス南西カスピ海石油



注: * 全鉱区ベース、2007年8月平均日産量(同年9月は16日間のシャットダウンメンテナンスを実施)

- 当社権益比率: 10.0%(オペレーター:BP)
- 生産量*: 日量約71万バレル
- PS契約: 2024年まで
- チラグ油田は1997年に生産開始
- フェーズ1: アゼリ油田中央部は2005年2月に生産開始
- フェーズ2: アゼリ油田西部は2005年12月に生産開始、アゼリ油田東部は2006年10月に生産開始
- 2009年に日量100万バレル達成予定
 - フェーズ3開発(グナシリ油田深海部): 2008年第2四半期に生産開始予定

カシャガン油田他 インペックス北カスピ海石油



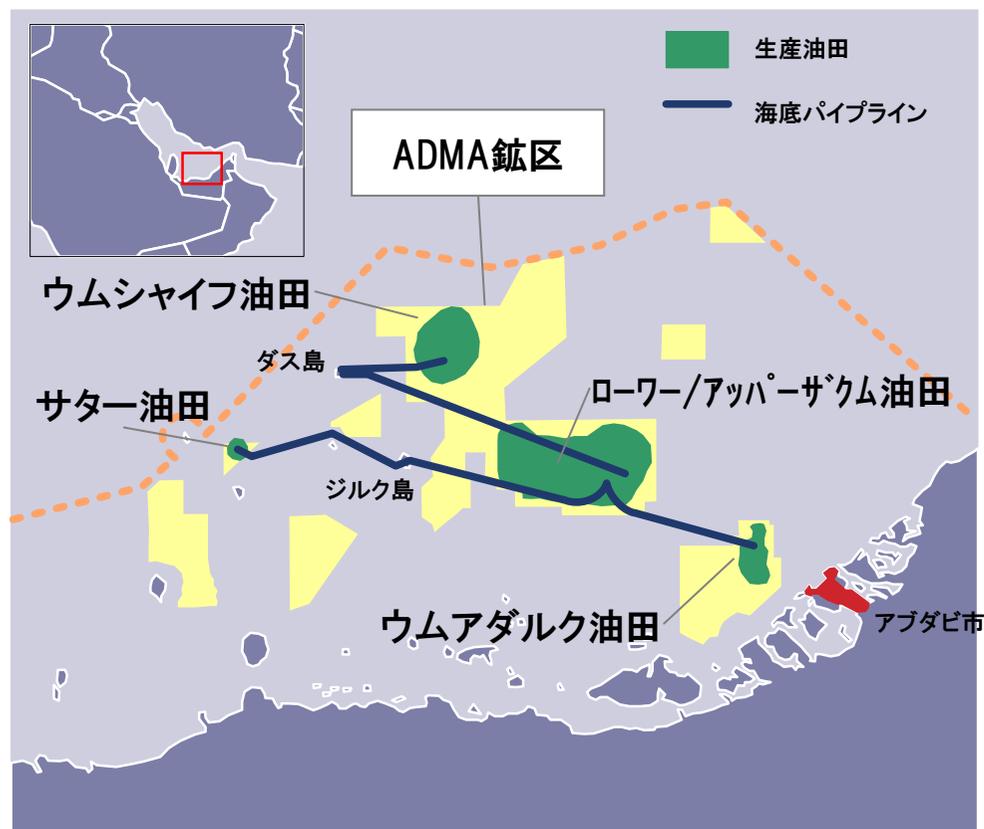
- 当社権益比率: 8.33%(オペレーター:Eni)
- PS契約: 2021年末まで(2041年末まで延長可)
- 2000年6月カシャガンにおいて原油発見、2004年4月までに試・探掘井7坑で原油を確認
- カシャガン油田以外にもカラムカス/アクトテ/カイヤン/南西カシャガンの4構造にて炭化水素の存在を確認
- 2004年2月カシャガン開発計画のカザフスタン政府承認
 - 修正開発計画についてカザフスタン政府と協議中であり、生産開始時期(当初計画: 2008年)は見直される予定

BTC(BakuTbilisiCeyhan)パイプラインプロジェクト INPEX BTC Pipeline, Ltd.



- 当社権益比率:2.5%(オペレーター:BP)
- 2002年10月に操業会社BTC Co.の発行済み株式をINPEX BTC Pipeline, Ltd.が取得
- 2004年2月、パイプライン建設の資金調達を目的とするプロジェクトファイナンス契約調印
- 2006年6月、ジェイハンターミナルから原油出荷開始
- 2007年8月、累計2億バレル出荷
- 2007年第3四半期、輸送能力日量100万バレルの設備のコミッショニングを完了

ADMA鉦区 ジャパン石油開発



- ウムシャイフ/ローワーザクム
 - 当社権益比率: 12.0%(オペレーター: ADMA-OPCO*)
 - アッパーザクム/ウムアダルク/サター
 - 当社権益比率:
アッパーザクム/ウムアダルク 12.0%
サター 40.0%(オペレーター: ZADCO*)
- *アブダビ国営石油会社とJODCOなどで設立した操業会社。JODCOから両社へそれぞれ12%を出資。
- 利権契約: 2018年まで(ただしアッパーザクム油田の権益期限は2026年)
 - 生産量維持・拡大のため開発作業を継続中
 - 全油田で水圧入を実施
 - ウムシャイフ/ローワーザクムでガス圧入を実施

アザデガン油田 アザデガン石油開発

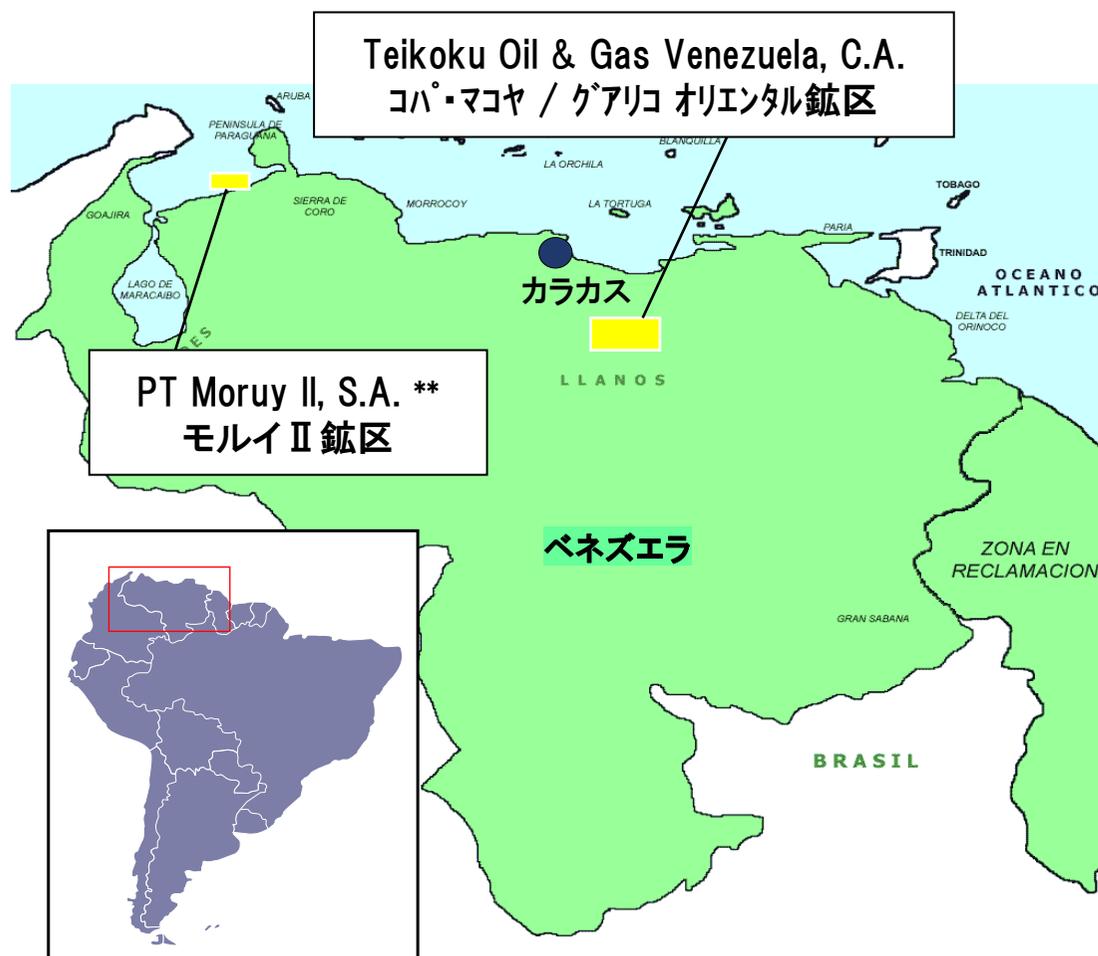


- 当社権益比率:10%
(イラン側と協議を継続中)
- サービス契約(バイバック契約)
- 油田開発プロジェクトは2段階*
 - 開発第1段階として2011年に日量15万バレルに達する計画
 - 開発第2段階へ移行した場合、2014年以降に日量26万バレルの生産に達する見込み

注:*全鉱区ベース、生産量達成時期は2007年中に本格的な開発工事が開始されるとの前提。

ベネズエラ プロジェクト

Teikoku Oil & Gas Venezuela, C.A.ほか

コパ・マコヤ / グアリコ オリエンタル鉱区

- ガス・原油探鉱・開発・生産事業
- ジョイントベンチャー契約
 - 2006-2026年
- ジョイントベンチャー出資比率
 - ガス事業:70%、原油事業:30%
- 生産量*
 - ガス: 日量約80百万立方フィート
 - 原油: 日量約1,870バレル

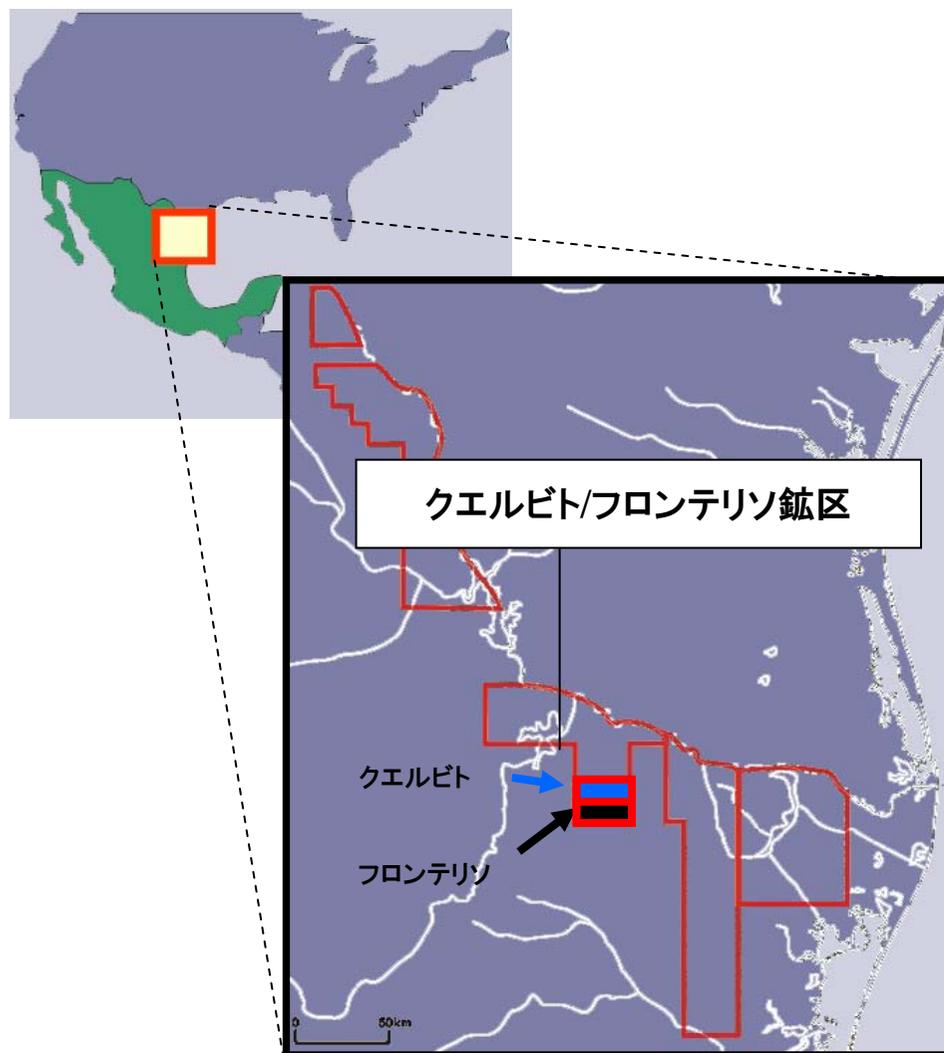
モルイ II 鉱区

- ガス探鉱事業
- 権益比率:50%(オペレーター:ペトロブラス)
- 地質解釈作業実施中

* 全鉱区ベース2007年9月平均日産量

** ペトロブラスと当社50:50の共同出資によるJV

クエルビト / フロンテリソ鉱区 テイコク・オイル・デ・ブルゴス*



クエルビト / フロンテリソ鉱区

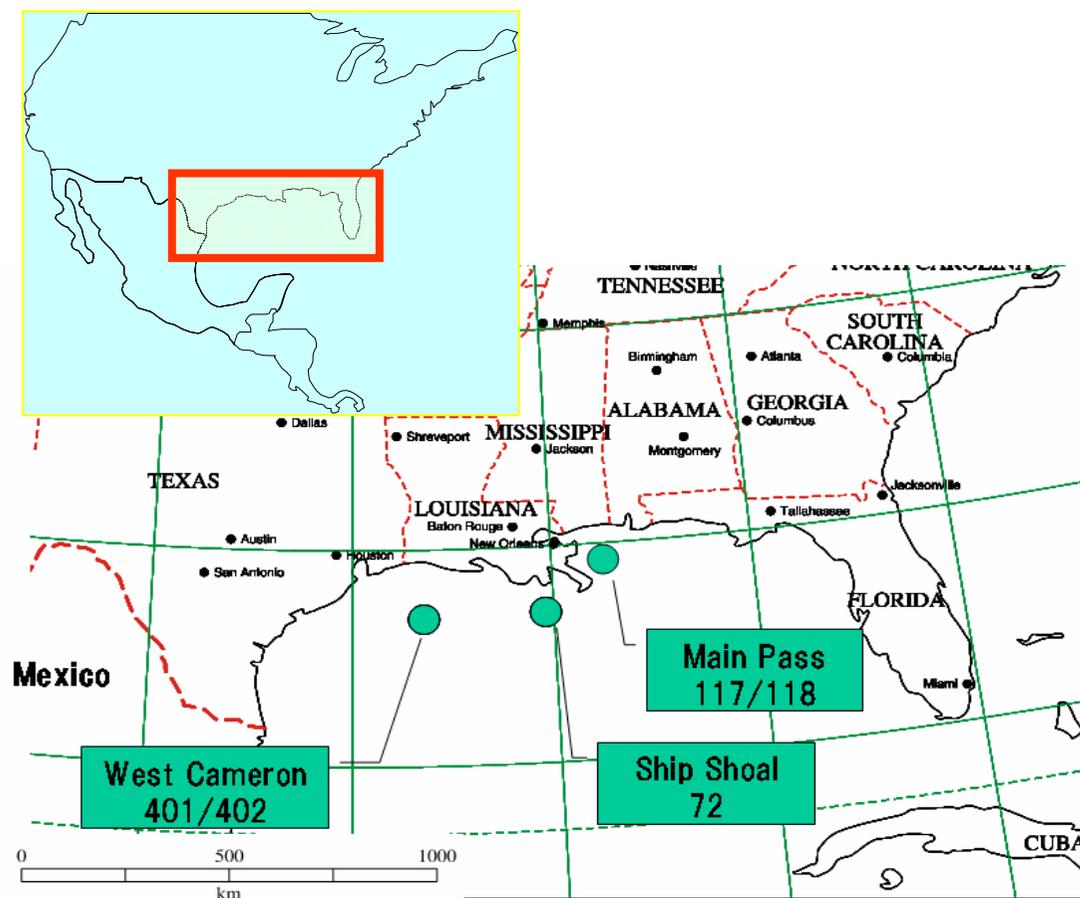
- ガス開発事業
- サービス契約
- 権益比率:40%
(オペレーター:ペトロブラス)
- 生産量** :日量約32百万立方フィート

* 当社株主シェア75%

**全鉱区ベース2007年9月平均日産量

米国メキシコ湾 プロジェクト

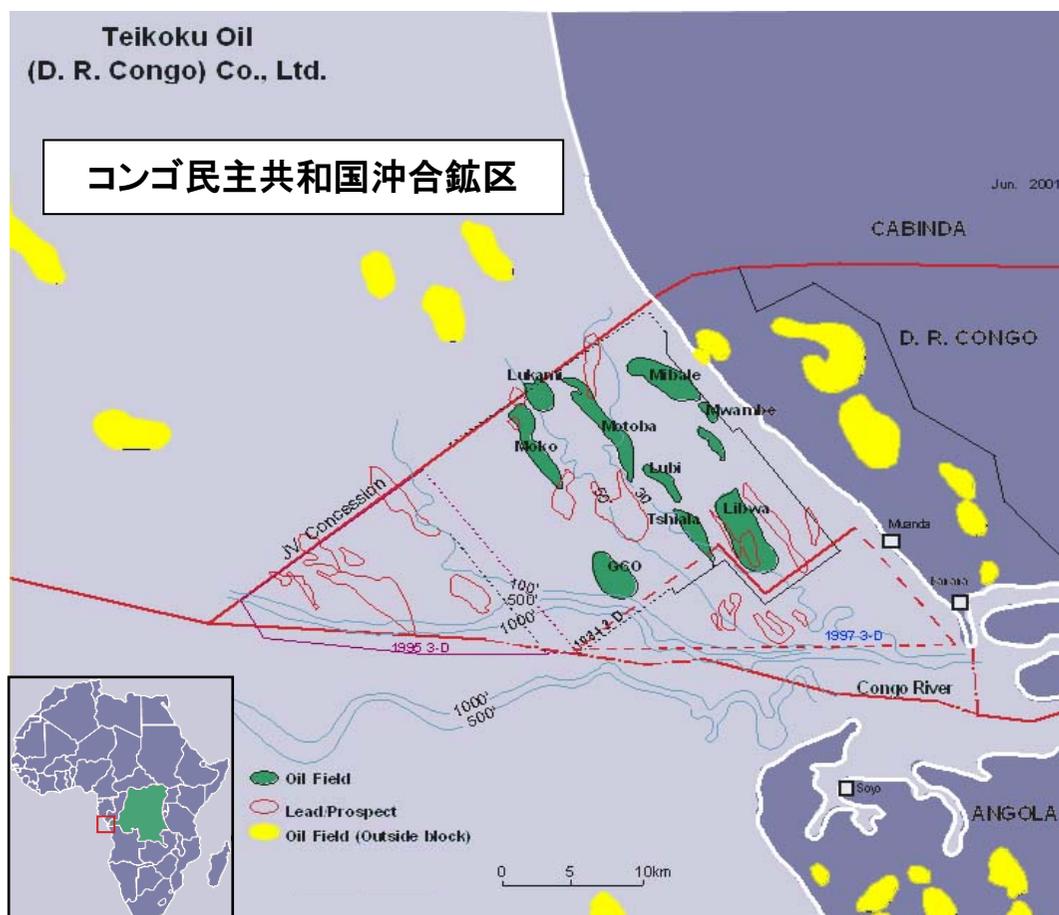
Teikoku Oil (North America) Co., Ltd.



- 原油・ガス探鉱・開発事業
- コンセッション契約
- 権益比率
 - Ship Shoal 72 : 25%
 - West Cameron 401/402 : 25%
 - Main Pass 117/118 : 10%
- 生産量*
 - ガス: 日量約18百万立方フィート
 - 原油: 日量約1,400バレル

* Ship Shoal72及びMain Pass117/118鉱区2007年9月平均日産量

コンゴ民主共和国沖合鉱区 帝石コンゴ石油

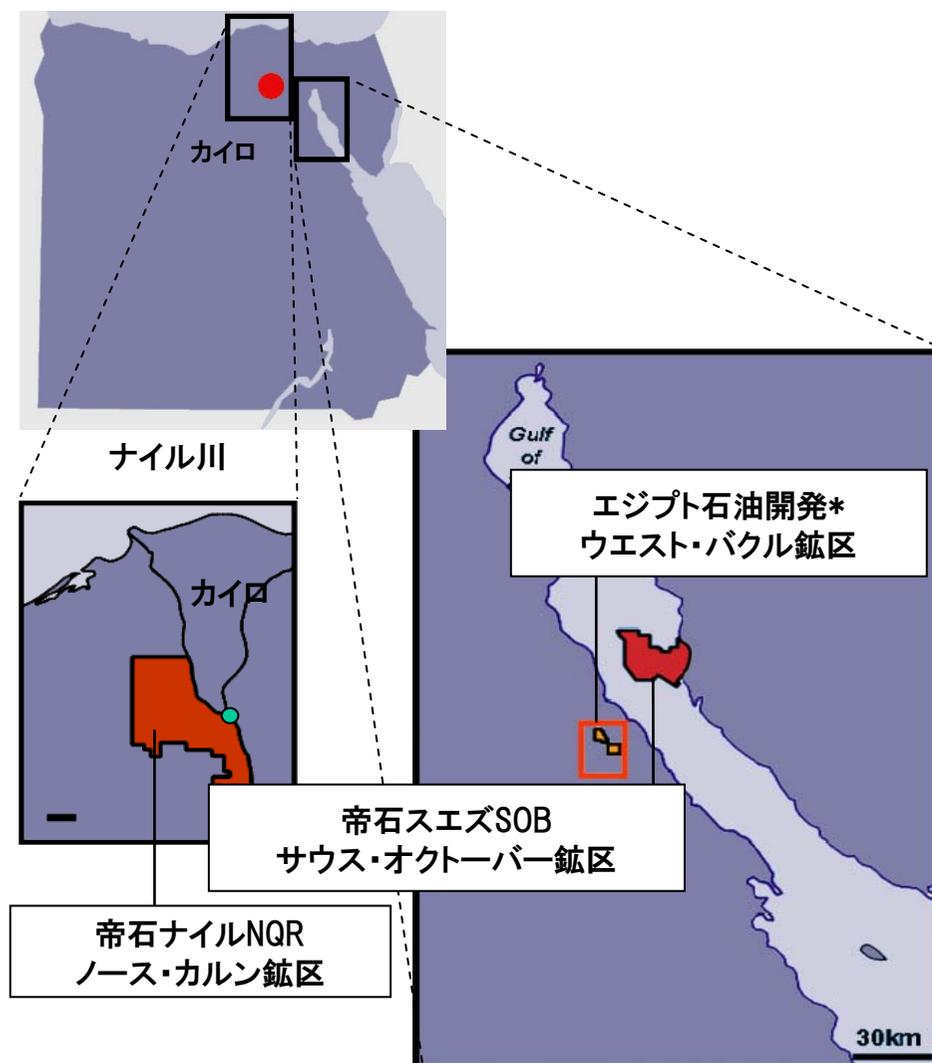


コンゴ民主共和国沖合鉱区

- 原油探鉱・開発事業
- コンセッション契約(1969-2023年)
- 権益比率:32.28%
(オペレーター:ペレンコ)
- 生産開始:1975年
- 生産量*: 日量約14,400バレル

*全鉱区ベース2007年9月平均日産量

エジプト プロジェクト エジプト石油開発*ほか



ウエスト・バクル鉱区

- 原油・ガス探鉱・開発事業
- PS契約(1975-2020年+5年延長オプション)
- 権益比率:100%(オペレーター)
- 生産開始:1980年
- 生産量**: 日量約4,700バレル

サウス・オクトーバー鉱区

- 原油・ガス探鉱事業
- 権益比率:35%(オペレーター:Dana Petroleum)
- 地質解釈作業実施中

ノース・カルン鉱区

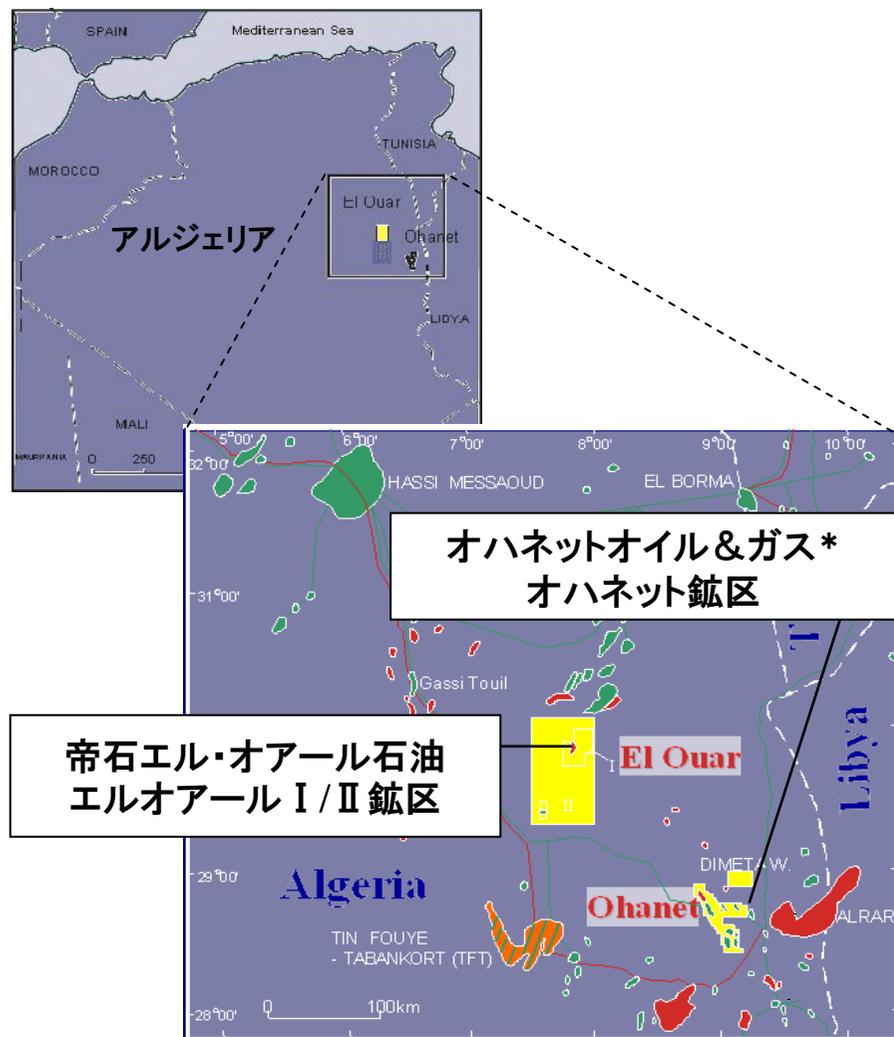
- 原油・ガス探鉱事業
- 権益比率:25%(オペレーター:Dana Petroleum)
- 2D地震探鉱準備作業中

* 当社株主シェア52.7%

** 全鉱区ベース2007年9月平均日産量

アルジェリア プロジェクト

オハネットオイルアンドガス*(オハネット鉱区)
 帝石エル・オアール石油(エル・オアール I / II 鉱区)



オハネット鉱区

- ガス開発事業
- リスクサービス契約(2000-2011年)
- 権益比率:30%(オペレーター:BHPB)
- 生産開始:2003年10月
- 生産量**
 - ドライガス: 日量約587百万立方フィート
 - コンデンセート: 日量約25,000バレル
 - LPG: 日量約2,500トン

エル・オアール I / II 鉱区

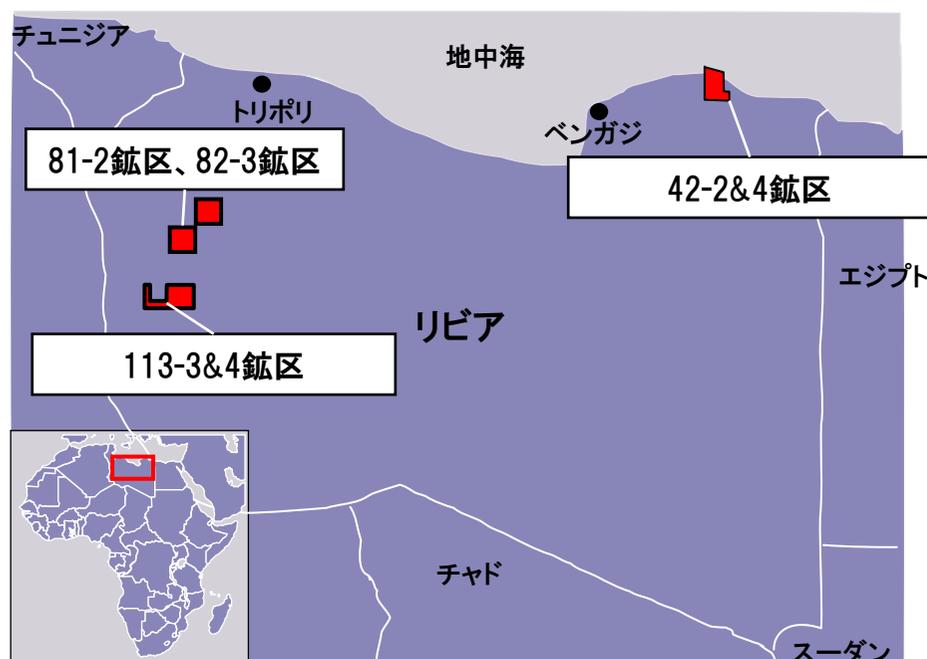
- 原油・ガス探鉱・開発事業
- コンセッション契約
- 周辺鉱区との共同開発を含めたガス・コンデンセート田の開発準備作業中
- 権益比率:10.29%(オペレーター:ENI)

* 当社株主シェア15%

** 全鉱区ベース2007年9月平均日産量

リビアプロジェクト

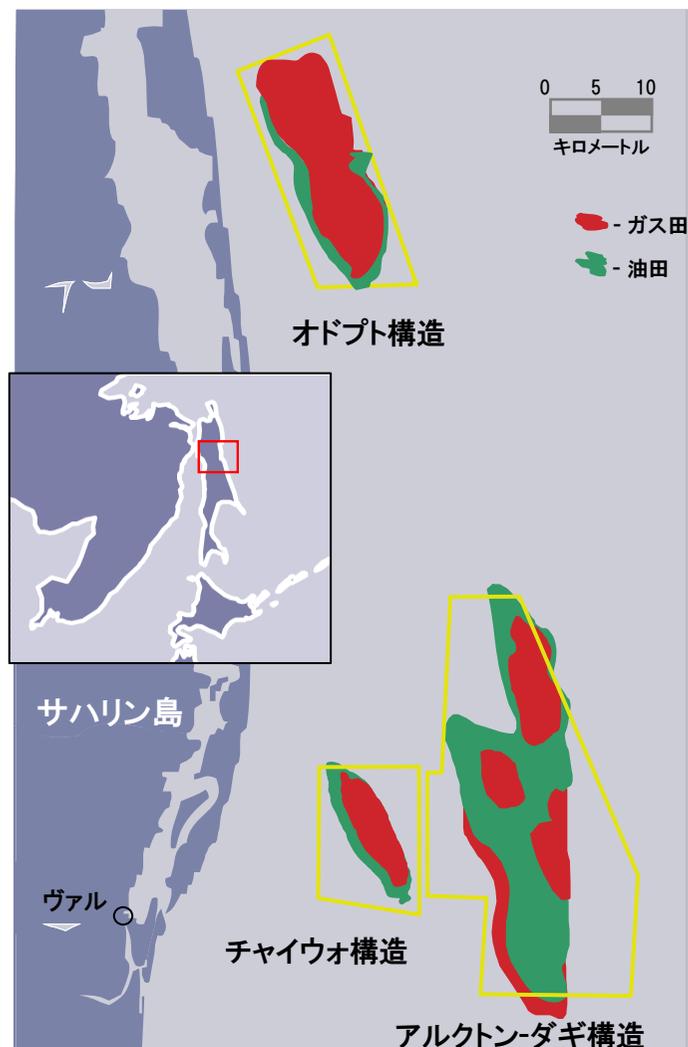
Teikoku Oil Libya UK Ltd(81-2鉱区、82-3鉱区)
インペックスリビア石油(42-2&4鉱区、113-3&4鉱区)



- 原油・ガス探鉱事業
- PS契約(探鉱契約5年間)
- 権益比率
 - 81-2鉱区、82-3鉱区:73%(オペレーター)
 - 42-2&4鉱区:40%(オペレーター:TOTAL)
 - 113-3&4鉱区:85%(オペレーター)
- 作業現況
 - 81-2鉱区、82-3鉱区:地質解釈作業実施中
 - 42-2&4鉱区:2D地震探鉱作業中
 - 113-3&4鉱区:2D地震探鉱準備作業中

サハリン I

サハリン石油ガス開発



*2007年9月平均日産量

- サハリン石油ガス開発(SODECO):
当社グループが5.75%の株式を保有
(石油公団が保有していた50%の株式は経済産業大臣が承継し、当社は諸条件が整えば、最大33%まで取得する方向で調整中)
- SODECOの権益比率: 30.0%
- 生産量*
 - 原油・コンデンセート 日量約18万バレル
 - ガス 日量約540百万cf/d
- オペレーター: ExxonMobil
- パートナー: ONGCヴィデッシュ、サハリンモルネフテガス・シェルフ、RNアストラ
- PS契約: 2001年12月、プロジェクトの「商業性宣言」がロシア政府より承認され、20年間の開発期間に移行
- 2005年10月生産開始、2006年10月原油輸出開始
- 天然ガスをロシア国内に供給。さらに中国等へ輸出を検討中

東シナ海

帝国石油



- 1969年：試掘権を出願
- 1981・84年：地震探鉱を実施
- 1992年：中国側が平湖油・ガス田を発見、1998年生産を開始
- 1997～1999年：石油公団が地震探鉱を実施
- 2004～2005年：石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)が地震探鉱を実施
- 2005年4月：経済産業省が試掘権設定のための処理手続きを開始、これを受け、九州経済産業局に対して、当社出願42,000km²のうち3エリア(約400km²)の試掘権設定の願いを提出
- 2005年7月：同3エリアの試掘権が付与され、8月に鉱業権設定が完了
- 今後の作業開始にあたっては、作業の安全確保を最優先に、日中政府間協議の動向を見守ると共に、関係官庁等と協議した上で判断

グループ主要出資先会社

会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	出資比率	ステージ
日本				
帝国石油	南長岡ガス田ほか*	日本	100%	生産中
東南アジア/オセアニア				
国際石油開発(INPEX)	マハカム沖鉱区	インドネシア	100%	生産中
ナトゥナ石油	南ナトゥナ海B鉱区	インドネシア	100%	生産中
MI Berau B.V.	ベラウ鉱区(タングー-LNG)	インドネシア	44%	開発中
インベックスマセラアラフラ海石油	マセラ鉱区(アバディ)*	インドネシア	54.3%	開発検討中
サウル石油	バユ・ウンダン	チモール海共同開発地域	100%	生産中
インベックス西豪州ブラウズ石油	WA-285-P鉱区(イクシス)*	オーストラリア	100%	開発準備作業中
中東				
ジャパン石油開発	ADMA鉱区(アッパ-サクム油田等)	アラブ首長国連邦	100%	生産中
アザデガン石油開発	アザデガン油田	イラン	100%	開発中
カスピ海沿岸				
インベックス南西カスピ海石油	ACG油田	アゼルバイジャン	51%	生産中
インベックス北カスピ海石油	カシャガン油田	カザフスタン	45%	開発中
中南米				
テイコク・オイル・アンド・ガス・ベネズエラ	コパ・マコヤ*/グアリコオリエンタル	ベネズエラ	100%	生産中
テイコク・オイル・エクアドル	B18**/B31鉱区**	エクアドル	100%	生産中(B31:開発中)
テイコク・オイル・デ・ブルゴス	クエルビト/フロンテリソ鉱区	メキシコ	75%	生産中
テイコク・オイル(ノース・アメリカ)	Ship Shoal 72, West Cameron 401/402, Main Pass 117/118	米国	100%	生産中(West Cameron 401/402:開発中)
アフリカ				
帝石コンゴ石油	コンゴ民主共和国沖合鉱区	コンゴ民主共和国	100%	生産中
エジプト石油開発	ウエスト・パクル鉱区*	エジプト	52.7%	生産中
オハネットオイルアンドガス	オハネット鉱区	アルジェリア	15%	生産中
帝石エル・オアール石油	エル・オアール I / II 鉱区	アルジェリア	100%	開発検討中

注: *オペレータープロジェクト

**権益移転に係る政府承認手続中であり、当該契約は政府承認を得た後、正式に発効する予定であります。

主な石油契約の概要①

鉱区	国・地域	石油契約
マハカム沖／アタカユニット	インドネシア	PS契約
南ナトゥナ海B	インドネシア	PS契約
ベラウ(タンゲー)	インドネシア	PS契約
マセラ(アバディ)	インドネシア	PS契約
JPDA03-12(バユ・ウンダン)	チモール海共同石油開発地域	PS契約
WA-10-L(グリフィン油田群)	オーストラリア	コンセッション契約
WA-285-P(イクシス)	オーストラリア	コンセッション契約
北カスピ海沖合(カシャガン他)	カザフスタン	PS契約
ACG油田	アゼルバイジャン	PS契約
ウムシャイフ／ローワーザクム／ アッパーザクム油田等	アラブ首長国連邦	コンセッション契約
アザデガン油田	イラン	サービス契約

主な石油契約の概要②

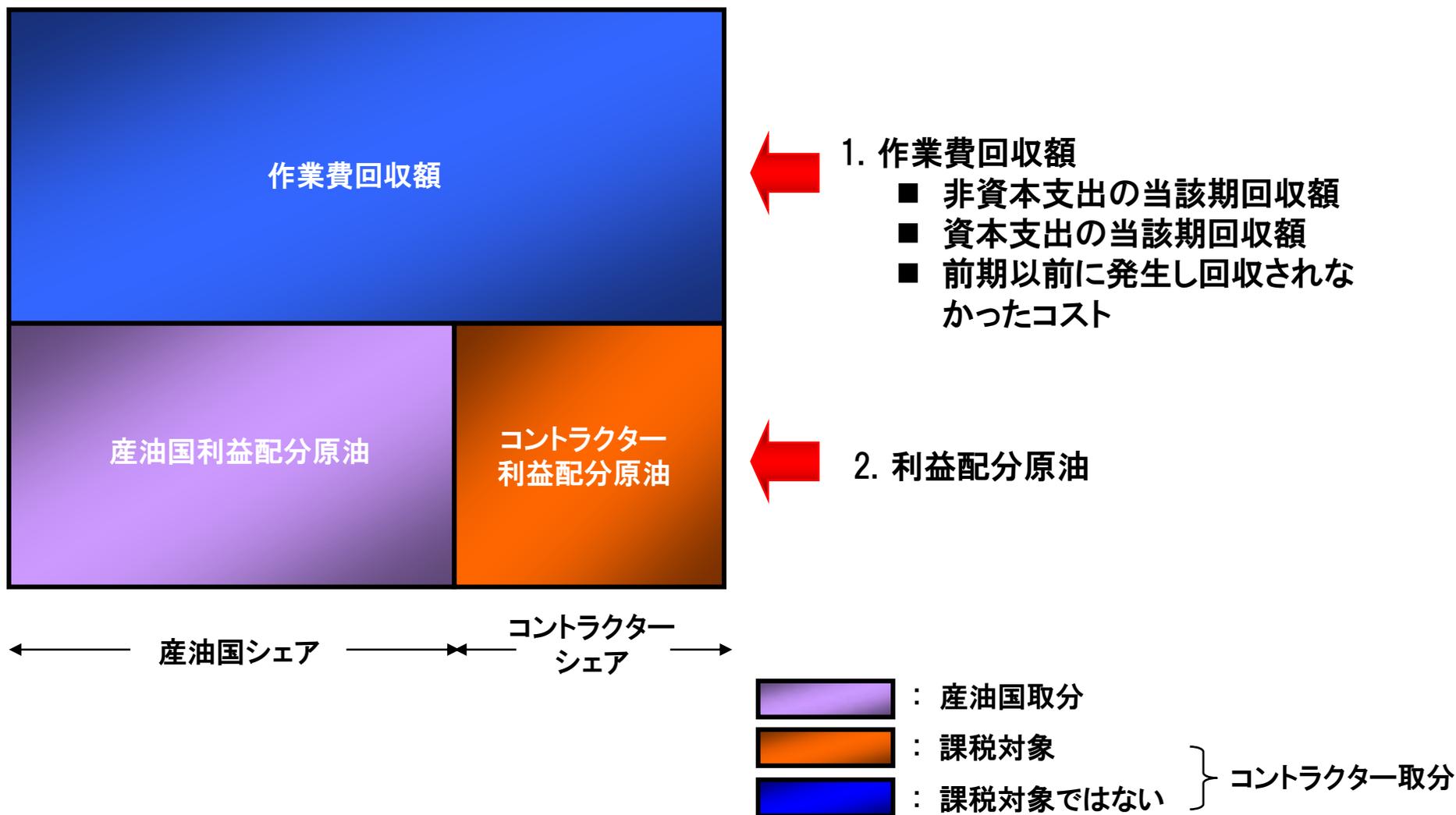
鉱区	国・地域	石油契約
コパ・マコヤ / グアリコ オリエンタル	ベネズエラ	コンセッション契約 (ジョイントベンチャー契約)
B18* / B31*	エクアドル	コンセッション契約
クエルビト / フロンテリソ	メキシコ	サービス契約
Ship Shoal 72、 West Cameron 401/402、 Main Pass 117/118	米国	コンセッション契約
コンゴ民主共和国沖合	コンゴ民主共和国	コンセッション契約
ウエスト・バクル	エジプト	PS契約
オハネット	アルジェリア	サービス契約 (リスクサービス契約**)
エル・オアール I / II	アルジェリア	コンセッション契約

*権益移転に係る政府承認手続中であり、当該契約は政府承認を得た後、正式に発効する予定であります。

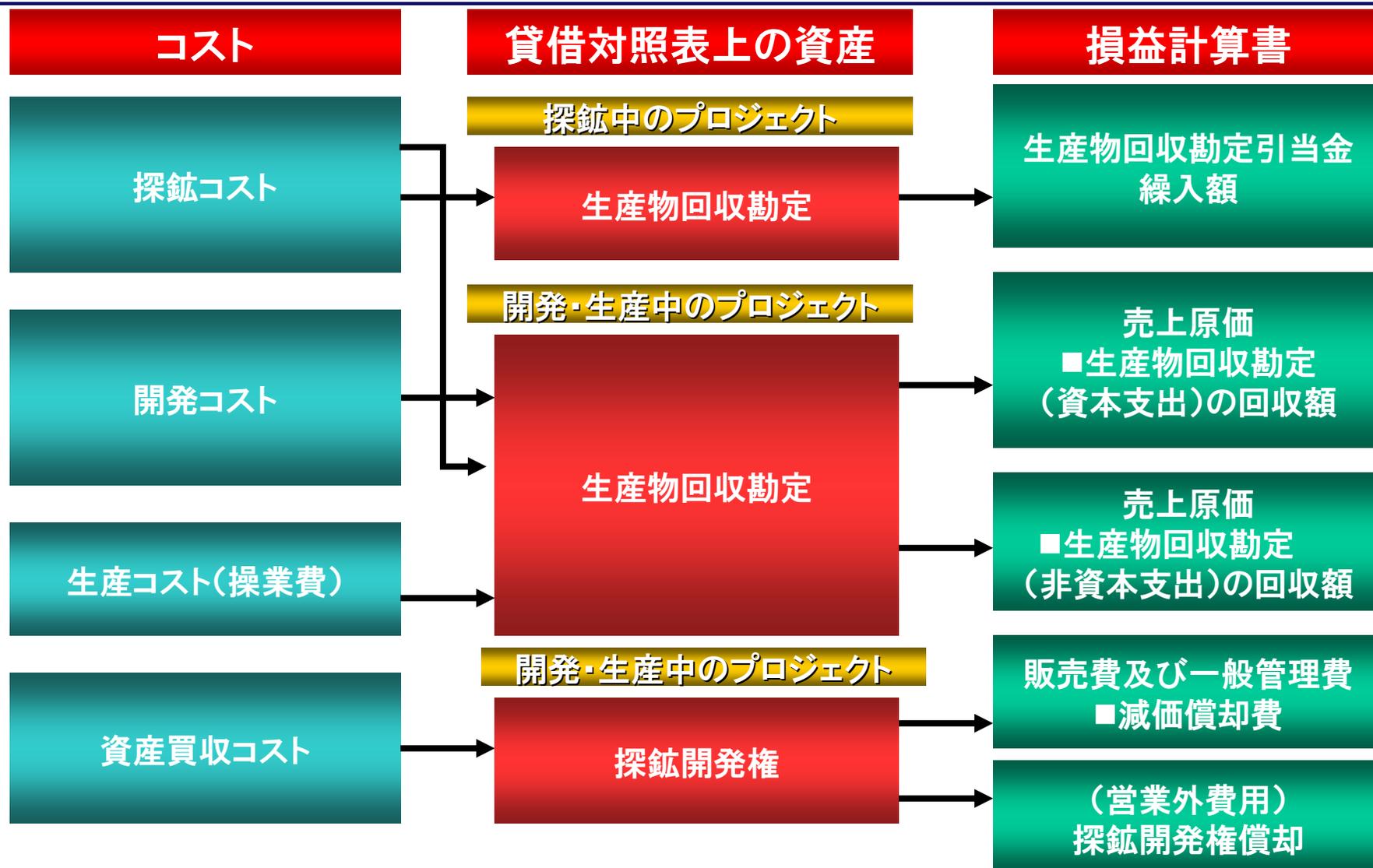
**リスク付き開発請負契約

その他

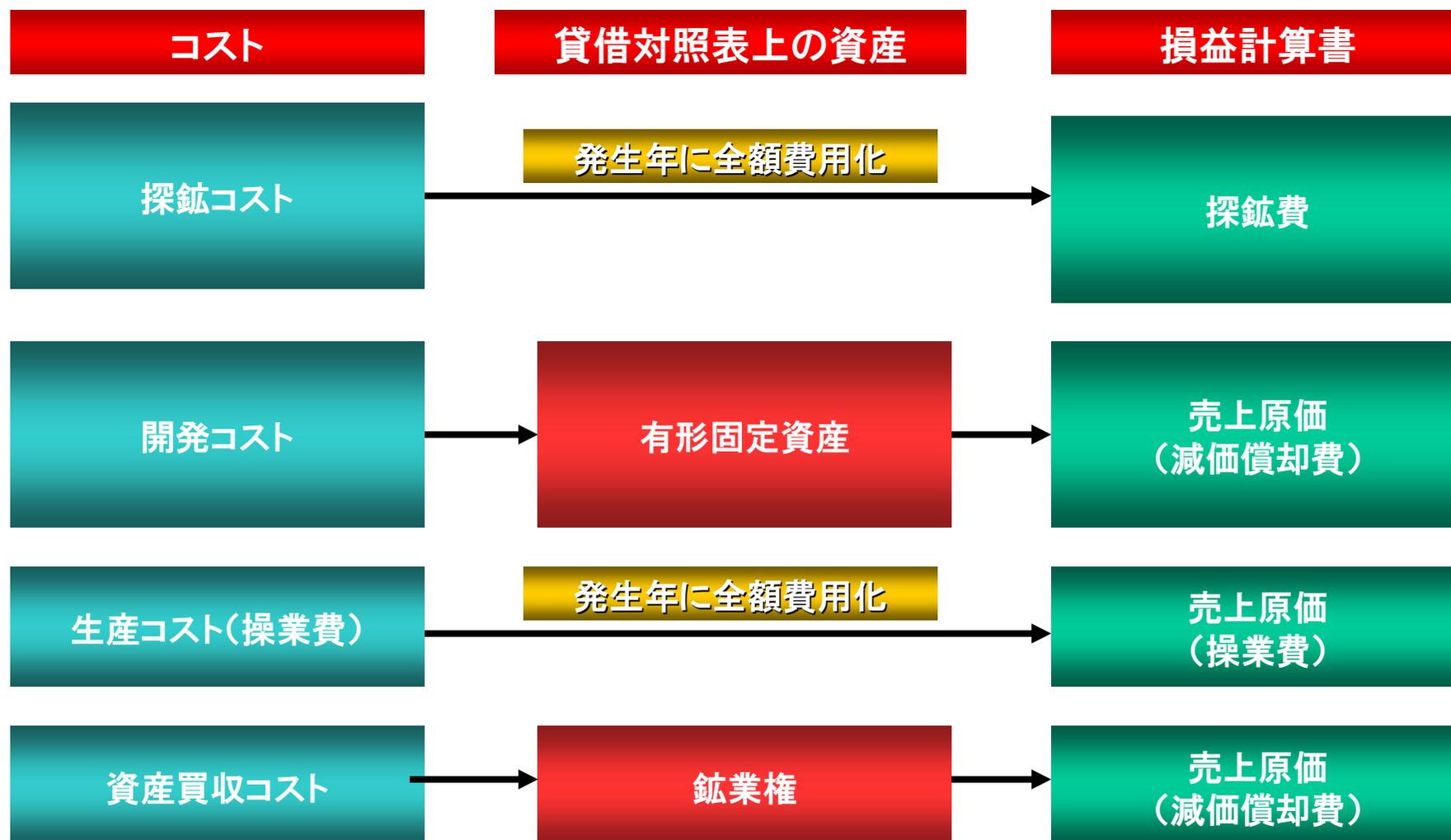
生産分与契約



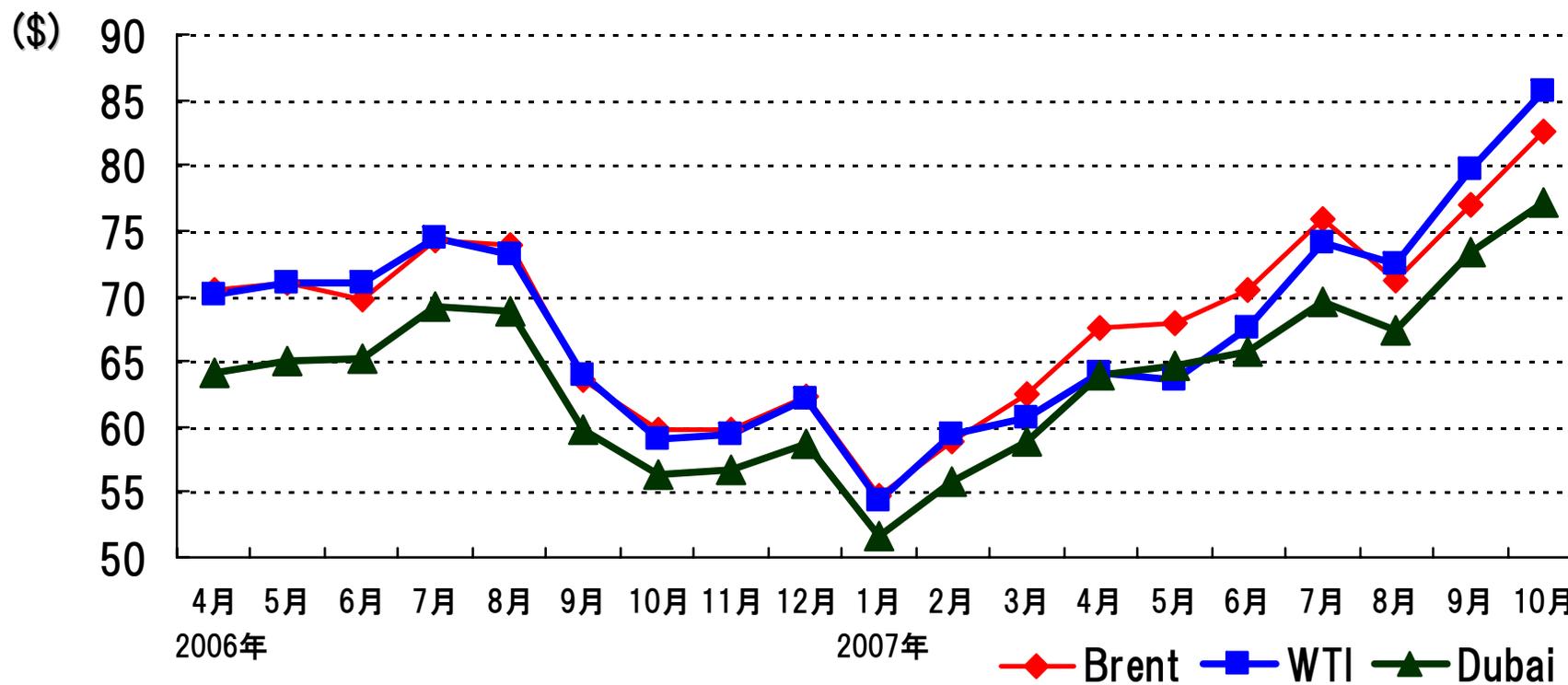
生産分与契約に係る会計処理



コンセッション契約に係る会計処理



油価の推移



	2006年度 上半期	2006年度 通期	2007年						2007年度 上半期
	平均	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
Brent	70.52	65.08	67.60	67.86	70.54	75.82	71.24	76.94	71.67
WTI	70.59	64.89	64.04	63.53	67.53	74.15	72.36	79.63	70.21
Dubai	65.35	60.85	63.97	64.61	65.79	69.49	67.38	73.36	67.43